

# 美杉台小学校校舎南棟トイレ改修工事（建築工事）

## 設計図

図面リスト

建 築		建 築		建 築	
図面番号	図面名称	図面番号	図面名称	図面番号	図面名称
A-01	特記仕様書-1	A-16	矩計図	K-01	仮設計画図-1（参考）
A-02	特記仕様書-2	A-17	A棟西便所 平面詳細図・展開図	K-02	
A-03	特記仕様書-3	A-18	A棟西便所 天井伏図・仕上表・建具表	K-03	
A-04	特記仕様書-4	A-19	A棟東便所 平面詳細図・展開図	K-04	
A-05	特記仕様書-5	A-20	A棟東便所 天井伏図・仕上表・建具表	K-05	
A-06	特記仕様書-6	A-21	部分詳細図		
A-07	案内図・配置図・建築概要	A-22			
A-08	仕上表・工事区分表	A-23			
A-09	1階平面図	A-24			
A-10	2階平面図	A-25			
A-11	3階平面図	A-26			
A-12	R・PH階平面図	A-27			
A-13	立・断面図-1	A-28			
A-14	立・断面図-2	A-29			
A-15	立・断面図-3	A-30			

工事名	美杉台小学校校舎南棟トイレ改修工事（建築工事）	
1 工事概要		
1. 工事場所	埼玉県飯能市美杉台一丁目29番地	
2. 敷地面積	24,741.00㎡（業務特記仕様書より）	
3. 工事種目（建物概要）	美杉台小学校校舎南棟 RC造3階建（耐火建築物） 延床面積 5,755.353㎡ 平成6年竣工	
4. 工事内容	トイレ改修工事に伴う建築工事一式及び廊下、階段床改修工事 1～3階 東西児童用トイレ改修工事 内装、建具、塗装、ユニット工事ほか 1～3階 廊下・階段床改修（建築工事）	

5. 工期	契約工期（全体）	契約	日から令和6年10月31日まで（予定）
	共通仮設費率の算定に用いる工期	令和	年 月 日から令和 年 月 日まで
	主任技術者又は監理技術者の専任を要しない期間	令和	年 月 日から令和 年 月 日まで
	現場代理人の現場への常駐を要しない期間	令和	年 月 日から令和 年 月 日まで
	トイレ1系統施工期間（前半部分）	契約	日から令和7年8月31日まで（予定）
	トイレ1系統施工期間（後半部分）	令和7年7月19日から令和7年10月31日まで（予定）	
	※施工や工事期間の細かい条件はA-6図にある現場特記事項を参照		

6. 工事範囲  
 ※「3. 工事種目」すべてを工事範囲とする。  
 ※「3. 工事種目」のうち各工事項目における工事範囲は下記表のとおりとする。  
 ただし、他の工事種目は全て、今回工事範囲とする。

工事項目	工事種目
② 仮設工事	
3 防水改修工事	
4 外壁改修工事	
-1 コンクリート打放し仕上げ外壁	
-2 モルタル塗り仕上げ外壁	
-3 タイル張り仕上げ外壁	
-4 塗り仕上げ外壁	
⑤ 建具改修工事	
⑥ 内装改修工事	
⑦ 塗装改修工事	
8 耐震改修工事	
⑨ 環境配慮改修工事	
⑩ 鉄筋工事	
⑪ コンクリート工事	

II 建築改修工事仕様  
 (1) 質問回答書、本特記仕様書（改修）及び図面に記載されていない事項は、すべて「埼玉県建築工事特別共通仕様書」、国土交通大臣官房官庁営繕部監修「公共建築改修工事標準仕様書（建築工事編）（平成31年版）」（以下、「改修標準仕様書」という。）及び国土交通大臣官房官庁営繕部監修「公共建築工事標準仕様書（建築工事編）（平成31年版）」（以下、「標準仕様書」という。）による。  
 (2) 改修標準仕様書及び標準仕様書で「特記がなければ、」以下に具体的な材料・工法・検査方法を明示している場合には、それらが関係法令等（条例を含む）と異なる場合には、具体的な対応策について監理者と協議すること。  
 (3) 本特記仕様書の表記  
 1) 項目は、番号に○印の付いたものを適用する。  
 2) 特記事項は、○印の付いたものを適用する。○印の付かない場合は、※印の付いたものを適用する。○印と※印の付いた場合は、共に適用する。  
 3) 特記事項記載の〔 〕内の表示番号は、「埼玉県建築工事特別共通仕様書」の当該項目、当該図表を示す。  
 4) 特記事項に記載の〔 〕内の表示番号は、改修標準仕様書の当該項目、当該図表を示す。  
 5) 特記事項に記載の〔 〕内の表示番号は、標準仕様書の当該項目、当該図表を示す。  
 6) 製造所名は、五十音順とし「株式会社」等の記載は省略する。また、〔 〕内は製品名を示す。  
 7) 本工事において、「国等による環境物品等の調達に関する法律（平成12年法律第100号）」に基づく、「環境物品等の調達の推進に関する基本方針（平成29年2月7日閣議決定）」（以下「グリーン購入法基本方針」）による特定調達品目の判断基準等を満たす環境物品等を選択するよう努めるものとする。なお、〔Q〕印は設計図書で定めのある品目を示す。  
 8) 注は改修標準仕様書及び標準仕様書記載事項で、注意すべきものを示す。

項目	特記事項
① 適用基準等	※埼玉県建築工事実務要領に記載の要領等 ※建築工事監理指針（国土交通省監修）（参考図書） ※建築工事標準詳細図（国土交通大臣官房官庁営繕部監修 最新版）
② 条件明示事項	保険の種類 ※法定外の労災保険（工事に従事する者（全ての下請員を含む）の業務上の負傷等を対象とするもの） ※建設工事保険等（工事目的物及び工事材料等を対象とするもの） ・ 請負者賠償責任保険等 保険の期間 ※工事完成期日後14日を含む期間
③ 工事実績情報の登録	※行う（請負代金額500万円以上、10日以内に登録） ・ 行わない [1.1.4][1.1.8]
4 適用区分	建築基準法に基づき定まる風圧力及び積雪荷重の算定には次の条件を用いる。 ・ 風圧力 風速（Vo= m/s） 地表面粗度区分（Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ） ・ 積雪荷重 H12.5.31告示第1455号における区域 別表（ ） ・ 大地震時の非構造物材の変形追従性能を確認する場合の層間変形角 ・ 1/200 ・ 1/150 ・ 1/120 ・ 図示（ ） 確認箇所（ ）
⑤ 別契約の関連工事	※監督員指定の別契約工事を今回工事全体としてとらえ、主導的に調整する。 [1.1.7] ・ 監督員指定の別契約工事が行う全体調整に全面的に協力する。 別契約工事 ・ 機械設備工事 ・ 電気設備工事
6 施工に注意を要する区域等	本工事場所は以下の区域等に指定等されているため、施工計画の作成 [1.1.12, 13] 及び施工に当たっては関係法令等の遵守に十分注意する。 ・ 周知の埋蔵文化財包蔵地 ・ 史跡名勝天然記念物
⑦ 工事の記録	埼玉県建築工事写真作成要領に基づき作成し、監督員に提出する。 [1.2.4][1.6.6] 埼玉県電子納品運用ガイドライン ※適用する（CD-R又はDVD-Rで1部提出） ・ 適用しない
⑧ 電気保安技術者	適用する [1.3.3][1.3.1]
9 施工条件	※行政機関の休日に関する法律（S63第91号）に定める行政機関の休日以外とする。 [1.3.5] ただし、監督職員の承諾を受けた場合はこの限りでない。 ・ 以下の期間を除いた現場閉鎖日数の割合が28.5%(8日/28日)以上であること。 年末年始6日間、夏季休暇3日間、工場製作のみの期間、工事全体の一時中止期間 指定期間（ ） 施工時間以外の施工条件 ・ 図示による
⑩ 施工中の安全確保	本工事の受注者が同施設の別途工事を含めた統括安全衛生責任者とする。 [1.3.7]
⑪ 環境保全等	建設機械は、原則として排出ガス対策型、低騒音型、低振動型を使用する。 [1.3.10]
⑫ 発生材の処理等	引渡しを要するもの [1.3.12][1.1.13] ※無し（全て構外搬出適正処理） ・ 有り（※図示 ・ ） 注 a) 発生材のうち特記により、引き渡しを要するものは、指示された場所に整理のうえ調書を添えて監督員に報告する。 b) 産業廃棄物処理許可書及び最終処理受入票の写しを提出する。 c) 引き渡しを要しないものは、すべて構内に搬出し、「資源の有効な利用の促進に関する法律」「建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律」（以下「建設リサイクル法」という。）「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」その他関係法令等により適切に処理し監督員に報告する。
⑬ 県産品の使用	受注者は、工事材料に係る納入契約を締結する場合には、当該契約の相手方は [1.4.2] 埼玉県内に本店を有する者の中から選定するように努めるとともに、調達する工事材料は、埼玉県産とするよう努める。 （図面に西川材と記載があるものは西川材に限る）
⑭ 環境への配慮	建築物内部に使用する材料等は、設計図書に規定する所要の品質及び [1.4.1][1.4.3] 性能を有すると共に、次の①から④を満たすものとする。 ① 合板、木質系フローリング、構造用パネル、集成材、単板積層材、MDF、パーティクルボード、その他の木質建材、ユリア樹脂板、壁紙、接着剤、保温材、緩衝材、断熱材、塗料、仕上塗材は、アセトアルデヒド及びスチレンを放射しないか、放射が極めて少ない材料で、設計図書に規定する「ホルムアルデヒドの放射量」の区分に応じた材料を使用する。 ② 接着剤及び塗料はトルエン、キシレン及びエチルベンゼンの含有量が少ない材料を使用する。 ③ 接着剤は、可塑剤（フタル酸ジ-n-ブチル及びフタル酸ジ-2-エチルヘキシル等を含有しない難揮発性の可塑剤を除く）が添加されていない材料を使用する。 ④ ①の材料等を使用して作られた家具、書架、実験台、その他の什器類等は、ホルムアルデヒド、アセトアルデヒド及びスチレンを放射しないか、放射が極めて少ない材料を使用したものとす。
⑮ 材料の品質等	※本工事に使用する材料等は、設計図書に定める品質及び性能と同等以上のものを使用する。ただし製造業者等が指定されている場合に同等以上のものとする場合は、あらかじめ監督員の承諾を受ける ※材料・建材等の製造業者等は次の①から④すべての事項を満たすものとし、この証明となる資料又は外部機関が発行する品質及び性能等が評価されたことを示す書面を提出し監督員の承諾を受ける。 ① 品質及び性能に関する試験データが整備されていること ② 生産施設及び品質の管理が適切に行われていること ③ 安定的な供給が可能であること ④ 法令等で定める許可、認可、認定又は免許等を取得していること ⑤ 製造又は施工の実績があり、その信頼性があること ⑥ 販売、保守等の営業体制が整えられていること ※製材等、フローリング又は再生木質ボードを使用する場合は、グリーン購入法の基本方針の判断の基準に従い、あらかじめ「木材・木製品等の合法性、持続可能性の証明のためのガイドライン」（林野庁 H18.2.15）に準拠した証明書を監督員に提出する。
⑯ 技能士	工事種別 [1.6.2][1.3.3] 仮設工事 ○ 木工作业 防水改修工事 ○ フォルト防水工作業 ・ カルコム系塗膜防水工作業 ・ フルト防水工作業 ・ 合成ゴム系防水工作業 ・ 塩化ビニル系防水工作業 ・ セルフ系防水工作業 ・ シール防水工作業 ・ FRP防水工作業 ・ 改質アクリル樹脂系工法防水工作業 ・ 左官作業 ・ 内外装板金作業 外壁改修工事 ・ 左官作業 ・ タイル張り作業 ・ 建築塗装作業 ・ 樹脂接着剤注入作業 ・ ガラス工作業 建具改修工事 ・ ビル用サッシ工作業 ・ 自動ドア工作業 内装改修工事 ・ プラスチック系床仕上げ工作業 ・ カーペット系床仕上げ作業 ・ 木質系床仕上げ工作業 ・ 鋼製地下工作業 ・ ボード仕上げ工作業 ・ タイル張り作業 ・ 吹付け硬質ウレタン断熱工作業 ・ 保温保冷工作業 ・ 壁装作業 塗装改修工事 ・ 木工塗装作業 ・ 建築塗装作業 耐震改修工事 ・ 鉄筋組立作業 ・ 型枠工作業 ・ 木工作业 ・ 構造物鉄工作業 その他 ・ コルゲートロック工作業

⑩ 化学物質の濃度測定 [1.6.9]	対象化学物質 判定基準 備考 ホルムアルデヒド 100µg/m <sup>3</sup> (0.08ppm) 以下 ※厚生労働省 トルエン 260µg/m <sup>3</sup> (0.07ppm) 以下 が定める指針 キシレン 200µg/m <sup>3</sup> (0.05ppm) 以下 換算単位 エチルベンゼン 3,800µg/m <sup>3</sup> (0.88ppm) 以下 換算は25℃ スチレン 220µg/m <sup>3</sup> (0.05ppm) 以下 パラジクロロベンゼン 240µg/m <sup>3</sup> (0.04ppm) 以下 測定方法 採取及び分析は、法令に基づき空気中の物質の濃度に係る証明を行う者が行う。 ①検体の採取方法 ※吸引方式（アクティブ法）又は拡散方式（パッシブ法） ・ 吸引方式（アクティブ法） ・ 拡散方式（パッシブ法） ②アクティブ法 ホルムアルデヒドは、ジニトロフェニルドラジン誘導体固相吸着/溶媒抽出法によって採取し、高速液体クロマトグラフ法（以下HPLC）により行う。 トルエン、キシレン、エチルベンゼン、スチレン及びパラジクロロベンゼンは、固相吸着/溶媒抽出法、固相吸着/加熱脱着法、容器採取法のいずれかを用いて採取し、ガスクロマトグラフ/質量分析法（以下GC/MS）により行う。 ③パッシブ法 ホルムアルデヒドは、パッシブ採取機器により採取し、HPLC又はガスクロマトグラフ法（以下GC）あるいはAHMT-吸光光度法のうち採取機器に適応した分析法による。 トルエン、キシレン、エチルベンゼン、スチレン及びパラジクロロベンゼンは、パッシブ採取機器により採取しGCまたはGC/MSのうち採取機器に適応した分析法による。 測定対象者 ・ 監督員の指定する者（トイレ） ・ 図示 測定箇所数 ※（計2箇所） ・ 図示 測定時期 ※工事着手前及び完了後 報告書 ※2部 中間検査 ※行う（埼玉県建設工事検査要綱第4条） ・ 行わない [1.7.2][1.5.1] 中間検査実施回数（ ） 実施段階（ ） 監督員の指示による 中間検査成績評定 ※対象外 ・ 対象（埼玉県建築工事成績評定要領第2）
18 中間検査	中間検査 ※行う（埼玉県建設工事検査要綱第4条） ・ 行わない [1.7.2][1.5.1] 中間検査実施回数（ ） 実施段階（ ） 監督員の指示による 中間検査成績評定 ※対象外 ・ 対象（埼玉県建築工事成績評定要領第2）
⑪ 書類等	監督員の指示により埼玉県建築工事監督要綱表第1に示す書類を提出する [1.8.1~3][1.6.1~3] 完成図等の種類及び記入内容 ※完成（竣工）図（※監督員が指定した設計図面に完成時の状態を表現したもの） ※施工図（※構造躯体 ・ ） ※施工計画書（総合、工種別とも） 作成方法及び原図のサイズ 設計図及び完成（竣工）図 ※A3二つ折り製本3部 ・ 施工図 ※A3二つ折り 施工計画書 ※ファイル等 保全に関する資料 ※1部等（通常取扱いに注意を要するもの使用方法を解説する） 完成写真（埼玉県建築工事写真作成要領に基づき作成する） 埼玉県電子納品運用ガイドライン ※適用する（CD-R又はDVD-Rで1部提出） ・ 適用しない 撮影者 ※監督員の承諾する撮影者 ・ 撮影箇所 ※外部（ ）内部（ ） 着工時と完成時の状況を比較できるように撮影する ・ 埼玉県建築工事写真作成要領表4 写真の大きさ ※カラーキャビネット ・ カラーA紙バネル 写真機の種類 ※監督員の指示による 外部全景完成写真及びカラーラジの提出時期 ・ 図面情報電子化媒体 ※CD又はDVD-R ・ CADデータの形式 ※DWG(stc) ・ DXF ・ （埼玉県建築工事図面情報電子化媒体作成要領による。CADデータのバージョンは監督員と協議する。） 施設CADデータ ・ 更新して提出 ・ 更新しない 防水工事 ※屋上防水 ・ 外壁防水 ・ 金属屋根等 [1.6.4] 建物引渡し日から10年間、受注者、施工者、材料メーカーの3者連名とし2部提出する。 上記以外 ・ 1部提出 予備材料 ※監督員の指示による ・ ①請契約 ※全体及び県内に分け、契約数及び契約金額の総計を提出する。
⑫ 保証書	
⑬ その他	・ 防音パネル ・ 防音シート [2.1.3] 防音パネル等を取り付ける足場等の設置範囲 ※図示 ・ 「手すり先行工法に関するガイドライン」に基づく足場の設置に当たっては、両サイドの別紙「手すり先行工法による足場の組立て等に関する基準」における2の(2)手すり設置方式又は(3)手すり先行専用足場方式により行う。 外部足場 ○ 設置する（設置範囲 ・ 図示 ・ ） ・ 設置しない 防護シート ○ 設置する（設置範囲 ・ 図示 ・ ） ・ 設置しない 内部足場 ○ 設置する（※脚立、足場板等） ・ 設置しない 材料、撤去材等の運搬方法 種別（A種 ・ B種 ・ C種 ○ D種 ・ E種） C種：利用可能なレベーター（ ・ 図示 ・ ） D種：利用可能な階段（ ・ 図示 ・ ） 塗落制止用器具の使用は、「塗落制止用器具の安全な使用に関するガイドライン」（厚生労働省 H30.6.22）による。 ・ フルハーネ型塗落制止用器具を用いる。 既存部分の養生 [2.3.1] 既存部分 養生の方法（※ビニルシート、合板等 ・ ） 既存家具、既存設備等 養生の方法（※ビニルシート等 ・ ） 既存ブラインド、カーテン等 養生の方法（ ・ ビニルシート等 ・ ） 保管場所（ ・ 図示 ・ ） 固定された備品、机、ロッカー等の移動 ・ 図示 ・ 既存部分に汚染又は損傷を与えるおそれのある場合は養生を行う。また、万一損傷等を与えた場合は、受注者の責任において速やかに修復等の処置を行う。 仮設間仕切り [2.3.2][表2.3.1] 仮設間仕切りの種別と材質等 種別 下地 仕上げ（厚さmm） 塗装 充填材 ・ A種 ・ 木 ・ せっこうボード（9.5mm） ・ 無し ※有り ・ 軽量鉄骨 種類（ ） ・ B種 ・ 合板（9.0mm） ・ 片面 材種（ ） ※C種 単管 防炎シート 充填材：グラスウール32k（厚：50mm以上） 仮設間仕切りにおける仮設扉の材質等 材質 仕上げ 塗装 設置箇所 充填材 ※木製 ※合板張り程度 ・ 無し ※図示 ・ か所 ・ 有り ・ 鋼製 ・ 片面 ・ 無し 充填材：グラスウール32k（厚：50mm以上） 規模 ・ 既存建物内の一部を使用 ・ 図示 [2.4.1] ・ 構内に新設 m <sup>2</sup> ・ 図示 ※設置しない（下記備品のみ用意する） 備品（ 名分相当） ・ 机 ・ 椅子 ・ 書棚 ・ 黒板 ・ 掛時計 ・ 寒暖計 ・ 長靴 ・ 両合羽 ・ 保護帽 ・ 懐中電灯 ・ 塗落制止用器具 ・ 軍手 ・ 衣類ロッカー ・ 冷暖房機器 ・ 消火器 ・ 湯沸器 ・ 茶器 ・ 掃除用具 ・ 電話機 ・ FAX ・ 電子メール通信機器 ・ スキャナー ・ プリンター ※設置する（[1.1.12]による表示 ・ 要 ・ 不要） ・ 設置しない [2.4.1][1.1.12] 構内既存の施設 ※利用できない ・ 利用できる（※有償 ・ 無償） 構内既存の施設 ※利用できない ・ 利用できる（※有償 別途施設調整を行うこと）
⑭ 監督員事務所	
⑮ 現場表示板	
⑯ 工事用水	
⑰ 工事用電力	

⑧ 工用機搬入路	※図示 ・
⑩ 仮囲い	※設置位置等は監督員の指示による ○ 図示
⑪ 交通誘導員	必要に応じ搬入路付近に交通誘導員を配置する。 配置箇所 ※監督員の指示による ○ 図示
12 快道トイレ	仕様 ※図示 ・
3 防水改修工事	調査範囲 ・ 図示の範囲 ・ [1.5.2, 3] 調査方法 ・ 図示 ・ 既存部分の破壊を行った場合の補修方法 ・ 図示 ・ 調査報告書 提出部数 ・ 2部 ・ 2 降雨等に対する養生 [3.1.3] (5) (7) ~ (9) による ・ 3 既存防水の処理 [3.2, 3, 4, 6] 既存保護層の撤去 ・ 行う（範囲 ・ 図示 ・ ） ・ 行わない 既存防水層の撤去 ・ 行う（範囲 ・ 図示 ・ ） ・ 行わない 既存露出防水層表面の仕上塗装除去 ・ 行う（ ・ M4AS ・ M4AS1 ・ M4C ・ M4D1） ・ 行わない 既存塗膜防水層表面の仕上塗装除去 ・ 行う（L4X） ・ 行わない 4 既存下地の処理 [3.2.6] 既存下地の補修箇所の形状、長さ、数量等 ・ 図示 ・ POS工法及びPOSI工法（機械式固定方式）の既存保護層を撤去し防水層を非撤去とした立上り部等の処理 ※[3.2.6] (4) (9) ①②③による 設備機器架台、配管受部、バラベツト、貫通パイプ回り、手すり・丸縁の取付け部、塔屋出入口部等の欠損部及び防水層未端部の納まり部の処理 ・ 図示 ・ 5 アスファルト防水 [3.3.2~5] 屋根保護防水 防水層の種類 工法 種別 施工箇所 断熱材 [Q] [9.2.1~3] 換気用シート 立上り部の保護 ・ P2A ・ A-1 ・ A-2 ・ A-3 厚さ≧15mm 以上 ・ P1B ・ B-1 ・ B-2 ・ B-3 ※フタマシ ・ P2A1 ・ A1-1 (材質) ※JIS A 9521に基づく押出法 ・ A1-2 ※JIS A 9521に基づく押出法 ・ A1-3 ※JIS A 9521に基づく押出法 ・ P1B1 ・ B1-1 ※JIS A 9521に基づく押出法 ・ T1B1 ・ B1-2 (A材層付き) ・ B1-3 (厚さ) ・ 25mm ・ 50mm 改質アスファルトルーフィングシートの種類及び厚さ ※[表3.3.3]から[表3.3.9]による 部分粘着層付改質アスファルトルーフィングシートの種類及び厚さ ※[表3.3.3]から[表3.3.9]による 平場の保護コンクリートの厚さ こて仕上げ ※水 80mm以上 既成コンクリート ※水 60mm以上 ・ 乾式保線材 ・ 窯業系パネル ・ 無石綿の繊維質原料等を主原料として、板状に押出成形しオートクレープ養生したもの。 金属複合板：金属板と樹脂を積層一体化したもの。 屋根露出防水 防水層の種類 工法 種別 施工箇所 断熱材 [Q] [9.2.1~3] 仕上塗料 備考 ・ M4C ・ C-1 (種類・使用量) ・ C-2 ※アクリル樹脂系 ・ C-3 の製造所の仕様 ・ C-4 ・ M3D (種類・使用量) ・ POD ・ D-1 ※アクリル樹脂系 ・ D-2 の製造所の仕様 ・ D-3 ・ 設けない ・ D-4 (改修用ドレ) ・ 設けない ・ POD1 ・ D1-1 (材質) ※JIS A 9521による (種類・使用量) ・ M3D1 ・ D1-2 ※アクリル樹脂系 の製造所の仕様 ・ M4D1 ・ 設けない ・ 設けない 高日射反射率防水の適用 [Q] ※適用する ・ 適用しない 脱気装置の種類及び設置数量 ※アスファルトルーフィング類の製造所の指定による ・ 種類（ ） ・ 設置数量（ ）個/m <sup>2</sup> 屋根露出防水絶縁断熱工法の場合の、ルーフトレンドリ回り及び立上り部周辺の断熱材の張り直し位置 ※図示 ・ 屋内防水 工法 種別 施工箇所 断熱材 [Q] 備考 ・ P1E ・ E-1 保護層 ・ 設ける ・ P2E ・ E-2 ・ 設けない ・ Eの工程3を行う部位（※貯水槽、槽等常時水に接する部位 ・ ） 押え金物の材質及び形状 ※アルミニウム製 L-30×15×2.0mm程度 屋根排水溝 ※図示 ・ 6 改質アスファルトシート防水 [3.4.2, 3] 防水層の種類 工法 種別 施工箇所 断熱材 [Q] [9.2.1~3] 仕上塗料 備考 ・ M4AS ・ AS-T1 (種類・使用量) ・ AS-T2 ※改質アクリル樹脂系 ・ AS-J2 の製造所の仕様 ・ M3AS (種類・使用量) ・ POAS ・ AS-T3 ※改質アクリル樹脂系 ・ AS-T4 の製造所の仕様 ・ AS-J1 (改修用ドレ) ・ AS-J3 (POASのみ) ・ 設けない ・ M3AS1 (材質) ※JIS A 9521による (種類・使用量) ・ M4AS1 ※改質アクリル樹脂系 の製造所の仕様 ・ POAS1 ・ AS1-J1 (厚さ) ・ 25mm ・ 設ける ・ 設けない 高日射反射率防水の適用 [Q] ※適用する ・ 適用しない 改質アスファルトシートの種類及び厚さ ※[表3.4.1]から[表3.4.3]による 粘着層付改質アスファルトシートの種類及び厚さ ※[表3.4.1]から[表3.4.3]による 部分粘着層付改質アスファルトシートの種類及び厚さ ※[表3.4.1]から[表3.4.3]による 脱気装置の種類及び設置数量 ※改質アスファルトシートの製造所の指定による ・ 種類（ ） ・ 設置数量（ ）個/m <sup>2</sup> 押え金物 ※アルミニウム製 L-30×15×2.0mm程度 ・

7 合成高分子系ルーフィングシート防水	防水層の種類 [3.5.2~4][表3.5.1~3]			
	工法	種別	施工箇所	断熱材 [3]
8 塗膜防水	高日射反射率防水の適用 [3] ※適用する ・適用しない			
	脱気装置の種類及び設置数量			
9 シーリング	シーリング材の目寸法			
	注 練り混ぜた2成分形シーリング材は、1組の作業班が1日に行った施工箇所を1ロットとして、各ロットごとにサンプリングを行い、サンプリング試料を監督員に提出すること。			
10 とい	ルーフドレンの種別			
	ルーフドレンの種別			

11 アルミニウム製笠木	種類			
	表面処理			
12 防水工事施工	※設置する(ヶ所) (施工年月日は防水工事施工完了日(手直しは除く)を記入) ・設置しない			
	調査範囲			
4 外壁改修工事	1 施工数量調査			
	2 ポリマーセメントスラリー			
4-1 ひび割れ部改修工法	3 既製調合モルタル			
	4-1 ひび割れ部改修工法			
4-2 モルタル塗り仕上げ外壁	2 欠損部改修工法			
	3 欠損部改修工法			
4-3 タイル張り仕上げ外壁	4 浮き部改修工法			
	5 目地改修工法			

4 浮き部改修工法	工法の種類			
	アンカーピン			
4-3 タイル張り仕上げ外壁	2 ひび割れ部改修工法			
	3 欠損部改修工法			
4 浮き部改修工法	工法の種類			
	アンカーピン			
4-3 タイル張り仕上げ外壁	2 ひび割れ部改修工法			
	3 欠損部改修工法			
4 浮き部改修工法	工法の種類			
	アンカーピン			

5 目地改修工法	目地ひび割れ部改修工法			
	伸縮調整目地改修工法			
6 タイルの形状、寸法等	工法の種類			
	アンカーピン			
4-4 塗り仕上げ外壁等	1 既存塗膜等の除去			
	2 仕上塗材仕上げ			
4-5 外壁用塗膜防水材塗り	1 外壁用塗膜防水材塗り			
	2 防水戸			
5 目地改修工法	目地ひび割れ部改修工法			
	伸縮調整目地改修工法			
6 タイルの形状、寸法等	工法の種類			
	アンカーピン			
4-4 塗り仕上げ外壁等	1 既存塗膜等の除去			
	2 仕上塗材仕上げ			
4-5 外壁用塗膜防水材塗り	1 外壁用塗膜防水材塗り			
	2 防水戸			
5 目地改修工法	目地ひび割れ部改修工法			
	伸縮調整目地改修工法			
6 タイルの形状、寸法等	工法の種類			
	アンカーピン			
4-4 塗り仕上げ外壁等	1 既存塗膜等の除去			
	2 仕上塗材仕上げ			
4-5 外壁用塗膜防水材塗り	1 外壁用塗膜防水材塗り			
	2 防水戸			
5 目地改修工法	目地ひび割れ部改修工法			
	伸縮調整目地改修工法			
6 タイルの形状、寸法等	工法の種類			
	アンカーピン			
4-4 塗り仕上げ外壁等	1 既存塗膜等の除去			
	2 仕上塗材仕上げ			
4-5 外壁用塗膜防水材塗り	1 外壁用塗膜防水材塗り			
	2 防水戸			

5 アルミニウム製建具	性能値等 [5.2.2~5][表5.2.1、2] 耐風圧性、気密性及び水密性の等級、枠の見込み寸法 外部に面する建具の種類 ・A種 ・B種 ・C種 (適用する建具 ※建具表による) 上記以外の建具 (※建具表による) ・図示 防音ドア、防音サッシとする場合 遮音性の等級 ( ) (適用する建具 ※建具表による) 断熱ドア、断熱サッシ ( ) とする場合 断熱性の等級 ( ) (適用する建具 ※建具表による) 耐震ドアとする場合 面内変形追随性の等級 ( ) (適用する建具 ※建具表による)
	網戸等 種類 材質 線径 網目 ・防虫網 ※合成樹脂製 ・ガラス繊維入り合成樹脂製 ※0.25mm以上 ※16~18メッシュ ・防鳥網 ステンレス(SUS304)線材 1.5mm 網目寸法15mm
6 樹脂製建具	性能値等 [5.2.2][5.3.2~5] 耐風圧性、気密性及び水密性の等級、枠の見込み寸法 外部に面する建具の種類 ・A種 ・B種 ・C種 (適用する建具 ※建具表による) 上記以外の建具 (※建具表による) ・図示 防音ドア、防音サッシとする場合の遮音性の等級 外部に面する建具の種類 ・T-A種 ・T-B種 (適用する建具 ※建具表による) 上記以外の建具 (※建具表による) ・図示 断熱ドア、断熱サッシ ( ) とする場合の断熱性の等級 外部に面する建具の種類 ・H-A種 ・H-B種 ・H-C種 (適用する建具 ※建具表による) 上記以外の建具 (※建具表による) ・図示
	ガラス ※複層ガラス 水切り板、ぜん板等 ※図示 表面色 標準色 ・特注色
7 鋼製建具	性能値等 [5.2.2][5.4.2、4][表5.4.2] 簡易気密型ドアセットの気密性及び水密性の等級 ・適用する (※建具表による) ・適用しない 外部に面する鋼製建具の耐風圧性の等級 ・S-4 ・S-5 ・S-6 (適用する建具 ※建具表による) 防音ドア、防音サッシとする場合 遮音性の等級 ( ) (適用する建具 ※建具表による) 断熱ドア、断熱サッシ ( ) とする場合 断熱性の等級 ( ) (適用する建具 ※建具表による) 耐震ドアとする場合 面内変形追随性の等級 ( ) (適用する建具 ※建具表による)
	鋼板類 ※亜鉛めっき鋼板 ・ビニル被覆鋼板 ・珪藻土鋼板 ・ステンレス鋼板 合合せ、縦小口包み板等の材質 ※鋼板 ※建具表による
8 鋼製軽量建具	性能値等 [5.2.2][5.5.2~4] 簡易気密型ドアセットの気密性の等級 ・適用する ( ) ・適用しない 外部に面するステンレス製建具の耐風圧性の等級 ・S-4 ・S-5 ・S-6 (適用する建具 ※建具表による) 防音ドア、防音サッシとする場合 遮音性の等級 ( ) (適用する建具 ※建具表による) 断熱ドア、断熱サッシ ( ) とする場合 断熱性の等級 ( ) (適用する建具 ※建具表による) 耐震ドアとする場合 面内変形追随性の等級 ( ) (適用する建具 ※建具表による)
	鋼板類 ※亜鉛めっき鋼板 ・ビニル被覆鋼板 ・珪藻土鋼板 合合せ、縦小口包み板等の材質 ※鋼板 ※建具表による
9 ステンレス製建具	性能値等 [5.2.2][5.4.2][5.6.2~5] 簡易気密型ドアセットの気密性及び水密性の等級 ・適用する (※建具表による) ・適用しない 外部に面するステンレス製建具の耐風圧性の等級 ・S-4 ・S-5 ・S-6 (適用する建具 ※建具表による) 防音ドア、防音サッシとする場合 遮音性の等級 ( ) (適用する建具 ※建具表による) 断熱ドア、断熱サッシ ( ) とする場合 断熱性の等級 ( ) (適用する建具 ※建具表による) 耐震ドアとする場合 面内変形追随性の等級 ( ) (適用する建具 ※建具表による)
	材料 鋼板 ※SUS304、SUS430J1L又はSUS443J1 表面仕上げ ※H.L. ・鏡面仕上げ ステンレス鋼板の曲げ加工 ※普通曲げ ・角出し曲げ
10 木製建具	建具材の加工、組立時の含水率 ※B種 建具材の不製建具に使用する表面材及び接着剤のホルムアルデヒド放散量 ※規制対象外 ・フラッシュ戸 表面材の合板の種類
	合板の種類 規格等 備考 ・普通合板 ( ) 表面の樹種 生地、透明塗料塗り (※ラワン合板程度) ・ 不透明塗料塗り (※しな合板程度) ・ 板面の品質 ( ) 接着の程度 (・1類 ・2類) 防虫処理 ・行う ・天然木化粧合板 ( ) 樹種名 ( ) 接着の程度 (・1類 ・2類) 防虫処理 ・行う ・特殊加工化粧合板 ( ) 化粧加工の方法 (・オーバーレイ・プリント・塗装) 表面性能 ( ) タイプ 接着の程度 (・1類 ・2類) 防虫処理 ・行う 表面材の厚さ ※[表16.7.6]による ・かまち戸 かまち樹種 ( ) 鏡板樹種 ( ) 見込み寸法 ※36mm ・建具表による

11 建具用金物	・ふすま 張りの種別 (・I型 ・II型) 上張り(押入等の裏側以外) ・鳥の子 上張り(押入等の裏側以外) ・鳥の子 縁上げ ・塗り縁 ・生地縁(素地) ・生地縁(ウレタンクリヤー塗装) 見込み寸法 ※19.5mm ・建具表による ・戸ぶすま 見込み寸法 ※30mm ・建具表による ・紙張り障子 見込み寸法 ※30mm ・建具表による 枠及びつくりの材料 ・建具表による
	金物の種類及び見え掛り部の材質等 ※[表5.7.1]及び適用は建具表による 金属製建具に使用する丁番の枚数及び大きさ ※[表5.7.2]による ・建具表による 樹脂製建具に使用する丁番の枚数及び大きさ ※[表5.7.3]による ・建具表による 握り玉、レバーハンドル、押板類、クレセント等の取付位置 ・建具表による ・図示 木製建具に使用する戸車及びレール ※標準仕様書 表16.8.5による ・建具表による
12 鍵	マスターキー ・製作する(・新規 ・既存マスター合わせ) ・製作しない [5.7.4] その他の鍵 ※合室3本組 ・ 鍵箱 ・無 ・有
13 自動ドア開閉装置	引き戸用駆動装置及び検出装置の種類 [5.8.2、3] 自動ドア 性能値 検出装置(センサー)の種類 凍結防止措置 耐電圧、温度上昇 耐圧(サイクル) 防錆 ・SSLD-1 ※[表5.8.1]による ・適用する ・マトスイッチ ・行う ・SSLD-2 ※上記によらない ※適用しない ・光線(反射)スイッチ (適用箇所は ・DSL-1 場合( ) 熱線スイッチ 建具表による) ・DSL-2 ( ) 音波スイッチ ・音波スイッチ ・音波スイッチ による ( ) ・電波スイッチ ・電波スイッチ ・( ) ・タッチスイッチ ・押しボタンスイッチ ・ペダルスイッチ ・多機能トイレスイッチ
	多機能トイレスイッチに設置される引き戸 出入口引き戸用駆動装置の性能値 ※[表5.8.2]による (防錆の適用 ・する ※しない) ・上記によらない場合 ( ) 検出装置(センサー)の種類 ※建具表による ・上記表と同じ 凍結防止措置 ・行う (適用箇所は建具表による) ・行わない
14 自閉式上吊り引戸装置	引き戸用検出装置の性能値 ※[表5.8.3]による ・上記によらない場合 ( ) 戸の開閉方式 ※建具表による ・図示
	性能 ※[表5.9.1]による [5.9.3]
15 重量シャッター	性能 ※[表5.10.2、3] [5.10.2、3] シャッターの種類 耐風圧強度 一般重量シャッター 耐風圧強度 ( ) N/m <sup>2</sup> 外壁用防火シャッター 耐風圧強度 ( ) N/m <sup>2</sup> 屋内用防火シャッター 屋内用防煙シャッター
	開閉方式の種類 ※上部電動式(手動併用) ・上部手動式 ・二重チェーン、急降下制動装置、急降下停止装置等を行った電動シャッターの設置箇所 ※図示 ・障害物感知装置を設けた電動式シャッターの設置箇所 ※図示 ・屋内用防火シャッター若しくは防煙シャッターの危害防止機構 ※[5.10.2、4](1)(c)に適合するもので、以下のいずれかの機構を有するものとする ※(a)障害物感知装置(自動閉鎖型) ・(b)可動速度式設置箇所 ※図示 ・管理用シャッターのシャッターケースの設置箇所 ※図示
16 軽量シャッター	材料 スラット及びシャッターケース用鋼板の材質 種類 ・JIS G 3302 (溶融亜鉛めっき鋼板及び鋼帯) ・JIS G 3312 (塗装溶融亜鉛めっき鋼板及び鋼帯) めっき付着量 ※Z12又はF12
	開閉形式の種類 ・上部電動式(手動併用) ※手動式 [5.11.2~4] 耐風圧強度 ( ) N/m <sup>2</sup> 材料 スラットの材質 種類及びめっきの付着量 ・JIS G 3312 (塗装溶融亜鉛めっき鋼板及び鋼帯) めっき付着量 (※Z06又はF06) ・JIS G 3322 (塗装溶融55%アルミニウム-亜鉛合金めっき鋼板及び鋼帯) めっき付着量 (※AZ90) スラットの形状 ・インターロック形状 ・オーバーラッピング形状
17 オーバーヘッドドア	性能値等 [5.12.2、3] [5.12.2、3] セクション材料 耐風圧 開閉方式 収納形式 ガイドレール 区分(Pa) による区分 による区分 による区分 による区分 ※スチールタイプ ・125 ※バランスタイプ ・スタンダード形※溶融亜鉛めっき鋼板 ・アルミニウムタイプ ・100 ・チェーン式 ・ローヘッド形 ・ファイバーグラスタイプ ・75 ・電動式 ・ハイリフト形 ・ステンレス鋼板 ・パーチカル形
	適用は以下によるほか、ガラスの種類・厚さは建具表及び図面による。 [3.7][5.13.2~4] 合わせガラス 種類 構成種類 性能 ・フロート合わせガラス ・フロート板合わせガラス ・I類 ・熱線吸収フロート板合わせガラス ・網入磨き合わせガラス ・網入磨き、フロート板合わせガラス ・II-1類・II-2類 ・網入磨き、熱線吸収板合わせガラス ・III類 強化ガラス 材料板ガラスによる種類 種類 性能 ・フロートガラス ・フロート強化ガラス ・I類・III類 ・型板ガラス ・熱線吸収強化ガラス 熱線吸収板ガラス 種類 性能 色調 ・熱線吸収フロート板ガラス ・1種 ・2種 ・ブルー ・グレー ・ブロンズ ・熱線吸収網入磨き板ガラス
18 ガラス	性能値等 [3.7][5.13.2~4] 「製材の日本農林規格」による広葉樹製材 [6.5.2] 施工箇所 樹種 寸法(mm) 等級 形状 含水率 保存処理 材面の品質 間伐材等の適用 ・熱線吸収フロート板ガラス ・T1 ・T2 ・T3 ・G ・S ・日射熱透過い複層ガラス ・T4 ・T5 ・T6 熱線吸収板ガラス 種類 日射熱透過い性 耐久性 ・熱線吸収ガラス ・1種 A種 ・高機能熱線吸収ガラス ・2種 ・A種 ・B種 色調 (・ブルー ・シルバー) ・3種 B種 反射被膜面 ・内面 ・外面 映像調整 ・行わない ・行う 倍強度ガラス 材料板ガラスによる種類の名称 色調 ・フロート倍強度ガラス ・熱線吸収倍強度ガラス ・ブルー ・グレー ・ブロンズ ガラスの留め材及び溝の大きさ 建具の種類 ガラス留め材 ガラス溝の大きさ(mm) アルミニウム製 ・シーリング材 ※建具の製造所の仕様による ・ガスケット ・グレイジングチャンネル形 鋼製及び鋼製軽量 ・シーリング材 ※建具の製造所の仕様による ステンレス製 ・シーリング材 ※建具の製造所の仕様による
19 ガラスブロック	性能値等 [5.13.5] 表面形状 呼び寸法 厚さ 色調 目地幅(mm) 伸縮調整 防火性能 目地幅(mm) 目地幅(mm) ・正方形 ・125×125 80 797 乳白 平積み 曲面積み 目地(mm) 目地(mm) ※無し ・160×160 95 125 15~25 外側 ※15以下 ※6以下に10~25 ※有り ・200×200 95 125 内側 ※6以上 ・320×320 95 125 ・長方形 ・250×125 80 ・320×160 95 曲面積み目地の曲率半径は、ガラスブロックの幅寸法の10倍以上とする。 材料 量用金属枠及び補強材の材質及び形状 ※図示 力骨 材質 ※ステンレス鋼(SUS304) 寸法 ※径5.5mm 形状 ※はしご形状補筋及び単筋 化粧目地モルタルの色 ( ) 金属製化粧カバー 材質 ・ステンレス製 ・アルミニウム製 寸法 ※図示 形状 ※図示 工法 建築基準法に基づき定まる風圧力の (・1 ・1.15 ・1.3) 倍の風圧力に対応した工法 ガラスブロックの目地幅の寸法 ※[5.13.5](2)(a)①②による 伸縮調整目地の位置 ※6mm以下に幅10~25mmの目地を設ける 目地部の横力骨の納まり ※ガラスブロックの製造所の仕様による ・図示 ※施工箇所は建具表による
	種類 記号 その他性能等 ・日射調整フィルム IG ・SQ-1 ・SQ-2 ・低放射フィルム LG ・衝撃破壊対応ガラス ・GI-1 ・GI-2 ・飛散防止フィルム ・層間変位破壊対応ガラス ・GD-1 ・GD-2 ・飛散防止フィルム ・ガラス貫通防止フィルム ・SF 品質 JIS A 5759 による
20 ガラス用フィルム	性能値等 [6.1.3] 既存間仕切壁の撤去に伴う当該壁の取り合う天井、壁及び床の改修範囲 ※壁厚程度とし、既存仕上げに準じた仕上げを行う ( ) 図示 天井内の既存壁の撤去に伴う当該壁の取合う天井の改修範囲 ※図面より取幅80mm程度とし、既存仕上げに準じた仕上げを行う ( ) 図示 既存天井の撤去に伴う取合部の壁面の改修 ※既存のまま ( ) 図示
	2 既存床の撤去及び下地補修 [6.2.2] ビニル床シート等の除去 ※仕上げ材の目(接着剤とも) ・下地モルタルとも (・図示の範囲 ・除去範囲全て) 合成樹脂塗床材の除去工法 ・機械的除去工法 ・目荒し工法 コンクリート又はモルタル面の下地処理に用いるポリマーセメントモルタル及びエポキシ樹脂モルタルは、「4章 外壁改修工事」による改修後の床の清掃範囲 ※改修箇所の室内
21 内装改修工事	3 既存壁の撤去及び下地補修 [6.3.2] 間仕切壁撤去に伴う他の構造体の補修 ※[4.4.9]によるモルタル塗り(塗り厚25mmを超える場合の処置 ※図示) ( ) 図示
	4 木下地等の表面仕上げ [6.5.1] 表面仕上げの種類 適用箇所 機械加工 ・A種 ・B種 ・C種 ・H-A種 ・H-B種 ・H-C種 手加工
22 23 24 25 26 27 28 29 30 31 32 33 34 35 36 37 38 39 40 41 42 43 44 45 46 47 48 49 50 51 52 53 54 55 56 57 58 59 60 61 62 63 64 65 66 67 68 69 70 71 72 73 74 75 76 77 78 79 80 81 82 83 84 85 86 87 88 89 90 91 92 93 94 95 96 97 98 99 100	「製材の日本農林規格」による下地用針葉樹製材 [6.5.2] 施工箇所 樹種 寸法(mm) 等級 形状 含水率 保存処理 材面の品質 間伐材等の適用 ・製材の日本農林規格 による造作用針葉樹製材 [6.5.2] 施工箇所 樹種 寸法(mm) 等級 形状 含水率 保存処理 材面の品質 間伐材等の適用 見え掛り面 ※上小節 ※A種 ・B種 見え掛り面以外 ※小節以上 ※A種 ・B種 「製材の日本農林規格」による広葉樹製材 [6.5.2] 施工箇所 樹種 寸法(mm) 等級 形状 含水率 保存処理 材面の品質 間伐材等の適用 見え掛り面 ※上小節 ※A種 ・B種 見え掛り面以外 ※小節以上 ※A種 ・B種

51 「製材の日本農林規格」による広葉樹製材 [6.5.2]	施工箇所 樹種 寸法(mm) 等級 含水率 保存処理 材面の品質 間伐材等の適用 ・製材の日本農林規格 による広葉樹製材 [6.5.2] 施工箇所 樹種 寸法(mm) 等級 含水率 保存処理 材面の品質 間伐材等の適用 ・製材の日本農林規格 による広葉樹製材 [6.5.2]
	「製材の日本農林規格」による広葉樹製材 [6.5.2] 施工箇所 樹種 寸法(mm) 等級 含水率 保存処理 材面の品質 間伐材等の適用 ・製材の日本農林規格 による広葉樹製材 [6.5.2]
52 53 54 55 56 57 58 59 60 61 62 63 64 65 66 67 68 69 70 71 72 73 74 75 76 77 78 79 80 81 82 83 84 85 86 87 88 89 90 91 92 93 94 95 96 97 98 99 100	「製材の日本農林規格」による広葉樹製材 [6.5.2] 施工箇所 樹種 寸法(mm) 等級 含水率 保存処理 材面の品質 間伐材等の適用 ・製材の日本農林規格 による広葉樹製材 [6.5.2]

61 62 63 64 65 66 67 68 69 70 71 72 73 74 75 76 77 78 79 80 81 82 83 84 85 86 87 88 89 90 91 92 93 94 95 96 97 98 99 100	「製材の日本農林規格」による広葉樹製材 [6.5.2] 施工箇所 樹種 寸法(mm) 等級 含水率 保存処理 材面の品質 間伐材等の適用 ・製材の日本農林規格 による広葉樹製材 [6.5.2]
	「製材の日本農林規格」による広葉樹製材 [6.5.2] 施工箇所 樹種 寸法(mm) 等級 含水率 保存処理 材面の品質 間伐材等の適用 ・製材の日本農林規格 による広葉樹製材 [6.5.2]
71 72 73 74 75 76 77 78 79 80 81 82 83 84 85 86 87 88 89 90 91 92 93 94 95 96 97 98 99 100	「製材の日本農林規格」による広葉樹製材 [6.5.2] 施工箇所 樹種 寸法(mm) 等級 含水率 保存処理 材面の品質 間伐材等の適用 ・製材の日本農林規格 による広葉樹製材 [6.5.2]
	「製材の日本農林規格」による広葉樹製材 [6.5.2] 施工箇所 樹種 寸法(mm) 等級 含水率 保存処理 材面の品質 間伐材等の適用 ・製材の日本農林規格 による広葉樹製材 [6.5.2]
81 82 83 84 85 86 87 88 89 90 91 92 93 94 95 96 97 98 99 100	「製材の日本農林規格」による広葉樹製材 [6.5.2] 施工箇所 樹種 寸法(mm) 等級 含水率 保存処理 材面の品質 間伐材等の適用 ・製材の日本農林規格 による広葉樹製材 [6.5.2]
	「製材の日本農林規格」による広葉樹製材 [6.5.2] 施工箇所 樹種 寸法(mm) 等級 含水率 保存処理 材面の品質 間伐材等の適用 ・製材の日本農林規格 による広葉樹製材 [6.5.2]
91 92 93 94 95 96 97 98 99 100	「製材の日本農林規格」による広葉樹製材 [6.5.2] 施工箇所 樹種 寸法(mm) 等級 含水率 保存処理 材面の品質 間伐材等の適用 ・製材の日本農林規格 による広葉樹製材 [6.5.2]
	「製材の日本農林規格」による広葉樹製材 [6.5.2] 施工箇所 樹種 寸法(mm) 等級 含水率 保存処理 材面の品質 間伐材等の適用 ・製材の日本農林規格 による広葉樹製材 [6.5.2]
101 102 103 104 105 106 107 108 109 110 111 112 113 114 115 116 117 118 119 120 121 122 123 124 125 126 127 128 129 130 131 132 133 134 135 136 137 138 139 140 141 142 143 144 145 146 147 148 149 150	「製材の日本農林規格」による広葉樹製材 [6.5.2] 施工箇所 樹種 寸法(mm) 等級 含水率 保存処理 材面の品質 間伐材等の適用 ・製材の日本農林規格 による広葉樹製材 [6.5.2]
	「製材の日本農林規格」による広葉樹製材 [6.5.2] 施工箇所 樹種 寸法(mm) 等級 含水率 保存処理 材面の品質 間伐材等の適用 ・製材の日本農林規格 による広葉樹製材 [6.5.2]



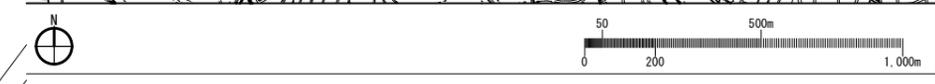
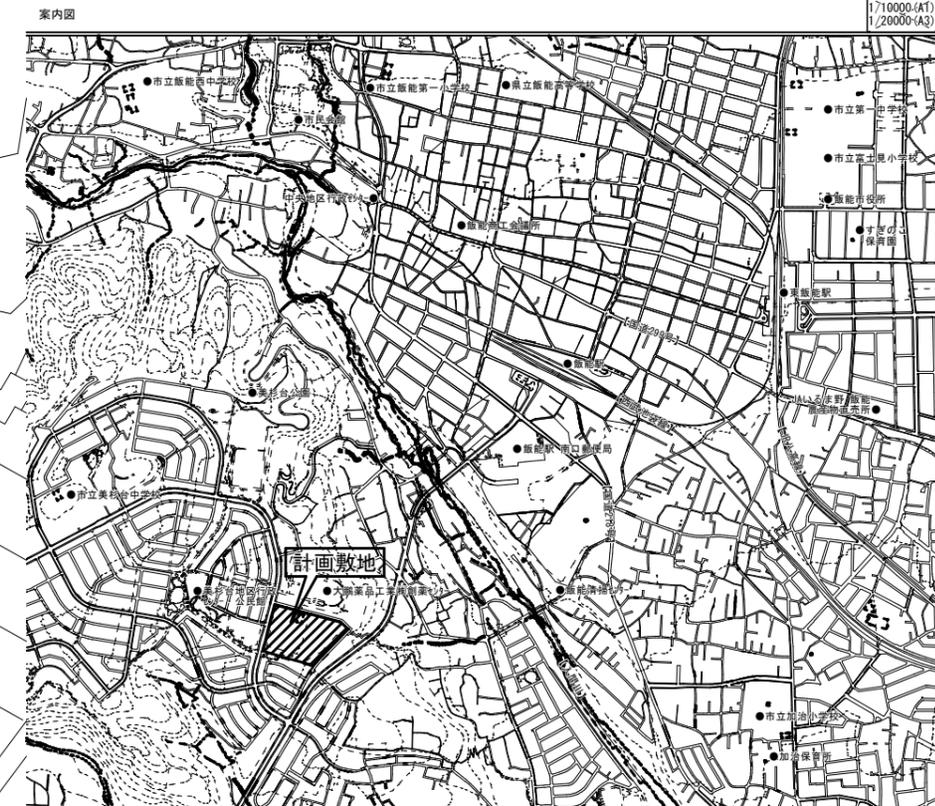
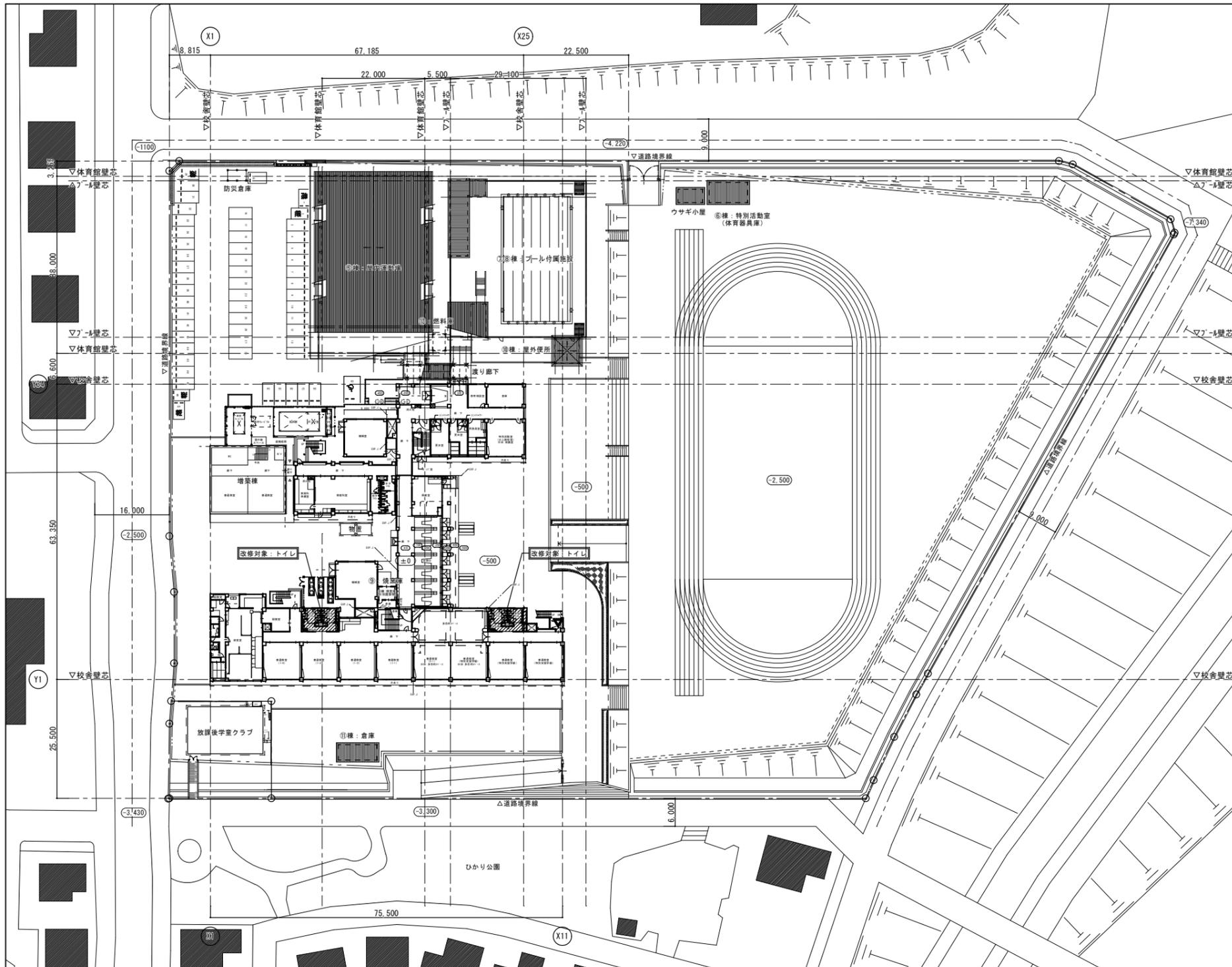
40	ブラインドボックス及びカーテンボックス	溝型×深さ(mm) ・90×150 ・120×80 ・120×150 ・150×80 ・図示 材質 集成材(仕上げ) ・アルミニウム製 押出し型材(市販品) 種類(標準仕様書表14.2.1) ・BC-1種 ・BC-2種 色合い ・標準色( ) ・特注色( ) ・鋼製(仕上げ)
41	天井点検口	材質 寸法 形式 外枠 内枠 ※アルミニウム製 60×450 一般形 ・屋内外用 縁タイプ 縁タイプ 600×600 密閉形 ・屋内用 ・目地タイプ ・目地タイプ ・気密形
42	床点検口	材質 寸法 形式 備考 アルミニウム製 450×450 一般形 ・屋内外用 ・鍵付き ステンレス製 600×600 密閉形 ・屋内用 ・鋼製
43	くつふきマット	材質 受け枠 備考 ・塩化ビニル又はゴム製 ・ステンレス製(SUS304) ・硬質アルミニウム合金製 ・硬質アルミニウム合金 ・ステンレス鋼(SUS304)製
44	流し台ユニット	材質 寸法(mm) 備考 W D H ・流し台 ・1200 ・650 ・800 市販品 ・1500 ・600 ・850 トラップ付き ・1800 ・650 天板ステンレス製 ・コンロ台 ・600 ・550 ・620 市販品 ・600 ・600 ・670 パックガード有り ・650 天板ステンレス製 ・つり戸棚 ・1200 ・450 ・500 市販品 ・900 ・700 ・水切り ・1200 ・― ・― 市販品 ・900 ・ステンレス製 ・600 ・1段式
45	鋼製書架及び物品櫃	品質・性能 JIS A 4420による。 形状 ※図示
46	屋内外掲示板	種類 規格等 JIS による種類 ・鋼製書架 JIS S 1039の規格による ・1種 ・2種 ・3種 ・鋼製物品櫃 ・4種 ・5種 ・6種
47	洗面カウンター	枠の材質 ※アルミニウム製 表面の材質 ※塩化ビニルシート張り
48	防煙垂れ壁	材質 形状、寸法 ※図示 合板類、MDF及びパーティクルボードのホルムアルデヒド放散量 ※規制対象外
49	収納家具	材質、形状、寸法 ※図示 合板類、MDF及びパーティクルボードのホルムアルデヒド放散量 ※規制対象外
50	塗装改修工事	① 材料 [7.1.3] ② 下地調整 [7.2.1~7]
51	錆止め塗料塗り	[7.3.2, 3]

52	塗装	[7.4.2~7.14.2]
53	耐震改修工事	特記仕様書(改修工事7-8)による
54	環境配慮改修工事	1 石綿含有建材の事前調査 [9.1.1] 2 石綿含有建材分析調査 [9.1.1] 3 石綿粉じん濃度測定 [9.1.1]
55	石綿含有吹付け材の除去(レベル1)	[9.1.3]
56	石綿含有保温材等の除去(レベル2)	[9.1.4]
57	石綿含有成形板の除去(レベル3)	[9.1.5]

58	7 石綿含有建築用仕上塗材等の除去	除去対象範囲 ・図示 除去方法 ( ) 除去した石綿含有建築用仕上塗材等の飛散防止 ※密封処理 ※湿潤化 ※固形化 除去した石綿含有建築用仕上塗材等の処分 ・埋立処分(管理型最終処分場) ・中間処理(溶融施設または無害化処理施設)
59	8 リフォーム・ゼミナール・リノベーションの処理 (特化則)	除去処理対象物 ・ 除去対象範囲 ・図示 除去方法 ・図示 処分 ・埋立処分(安定型最終処分場)
60	9 断熱アスファルト防水改修工事	工法の種類 [9.2.3] ・PIB工法 ・P2AI工法 ・PODI工法 ・TIBI工法 ・M3DI工法 ・M4DI工法
61	10 外断熱改修工事	断熱材の種類 [9.3.2~4] ・ポリウムアルデヒド放射線 ※規制対象外( ) 外装材の種類( ) 防火性能( ) 既存外壁の措置 既存外壁仕上げ材の撤去 ・あり ・なし 下地面の清掃 ・行う ・行わない 欠損部の改修工法 [4.1.4]による 工法 建築基準法に基づき定まる風圧力の(・1 ・1.15 ・1.3)倍の風圧力に対応した工法 不平等の下地調整 断熱材の施工 ※断熱材の製造所の仕様による 断熱材の有無 ・あり( ) mm) ・なし 外装材の外壁への取付け及び外装材の施工 ・外装材の製造所の仕様による
62	11 ガラス改修工事	5 建具改修工事、18 ガラスの「複層ガラス」による [9.4.2]
63	12 断熱・防露改修工事	フェノールフォーム断熱材又は保温材、接着剤のホルムアルデヒド放散量 [9.5.2~4] ※規制対象外 ・断熱材打込み工法 断熱材 JIS A 9521 に基づく発泡プラスチック断熱材 種類 ・ 厚さ(mm) ・ 施工箇所 ・ 断熱材現場発泡工法 断熱材の種類 ※A種1 ・A種1H 厚さ(mm) ・25 ・30 施工箇所 ・図示 断熱材後張り工法 断熱材 JIS A 9521 に基づく発泡プラスチック断熱材 ・せっこうボード等を張り付けたパネルを使用 厚さ(mm) ・
64	13 屋上緑化改修工事	植栽基盤及び材料 [9.6.2~4] 屋上緑化軽量システム ・適用する ・適用しない 芝及び地被類の樹種並びに種類等 ※図示 既設切り材、舗装材、水抜き管、マルチング材等 ※図示 工法 建築基準法に基づき定まる風圧力の(・1 ・1.15 ・1.3)倍の風圧力に対応した工法 かん水装置 ( ) ・設置する( ) 既存保護層の撤去 ・行う ・行わない 新植した芝及び地被類の枯補償の期間 ※引き渡しの日から1年
65	14 透水性アスファルト舗装改修工事	適用範囲:歩道 [9.7.2~5, 9] 既存舗装の撤去及び再利用 ※図示 路床の材料 種類 材料 厚さ(mm) ・盛土 ・A種 ・B種 ・C種 ・D種 ・図示 ・凍上抑制層 ・再生クラッシュラン [G] ・クラッシュラン ※図示 ・切込み砂利 ・川砂、海砂又は良質な山砂(75μmふるい通過量6%以下) ・フィルター層 ・川砂、海砂又は良質な山砂(75μmふるい通過量6%以下) ・図示 ・路床安定処理(添加材料による安定処理) 種類 ・普通ポルトランドセメント ・高炉セメントB種 [G] ・フライアッシュセメントB種 ・生石灰(・特号・1号) ・消石灰(・特号・1号) 添加量 ( ) kg/m <sup>3</sup> (目標CBR (目標CBR 3以上)) 目標CBRを満足する添加量の確認方法 安定処理土のCBR試験 試験 砂の粒度試験 ・行う ・行わない 路床土の支持力比(CBR)試験 ・行う( ) 箇所) ・行わない 現場CBR試験 ・行う( ) 箇所) ・行わない 路床締固め度の試験 ・行う ・行わない 六価クロム溶出試験 ・行う ・行わない 路盤 路盤の構成及び厚さ ・図示 路盤材料 種類 砕石 ・クラッシュラン ・粒度調整砕石 再生材 ・クラッシュラン [G] ・クラッシュラン鉄線スラグ [G] ・粒度調整鉄線スラグ [G] ・水硬性粒度調整鉄線スラグ [G] 舗装の構成 ・図示 舗装の平坦性 ※著しく不陸がないもの 開粒度アスファルト混合物等の抽出試験 ・行う ・行わない 15 PCB含有シーリング材処分 種類 採取する部位・箇所数 備考 ・PCB含有シーリング 部位 ・図示 分析調査(第一次判定) 箇所数: 箇所 ・PCB含有シーリング 部位 ・図示 分析調査(第二次判定) 箇所数: 箇所 詳細は監督員との協議による

66	16 舗装版切断時に発生する濁水の処理 (舗装版切断時に発生する濁水の処理に係る特記仕様書)	濁水の処理 1) 受注者は、回収した濁水を次のとおり処理するものとする。 種類及び処理量 ・図示による 処理方法 ・中間処理後、最終処分場へ(処理に焼却含まず) ・中間処理後、最終処分場又はセメント工場へ(処理に焼却含む) 2) 受注者は、別の中間処理施設を選定する場合、事前に監督員と協議するものとする。 共通事項 1) 受注者は、舗装版切断作業を行いながら濁水を可能な限り回収し、作業後速やかに回収した濁水を産業廃棄物の汚泥(油分を含む汚泥)として中間処理施設に運搬及び処理するものとする。 2) 受注者は、汚泥の中間処理業の許可を受けている業者と産業廃棄物処分委託契約を締結しなければならないものとする。 3) 受注者は、自ら運搬を行う場合を除き、汚泥の収集運搬業の許可を受けている業者と産業廃棄物収集運搬委託契約を締結しなければならないものとする。 4) 受注者は、濁水の処理に関する履行について、廃棄物の処理及び清掃に関する法律において定める産業廃棄物管理票(以下「マニフェスト」という。)により管理するものとする。 提出書類等 1) 受注者は、施工計画書において、濁水の回収、運搬及び処理に関する方法を定めなければならないものとする。また、中間処理業者及び収集運搬業者と締結した委託契約書の写し及び許可証の写しを添付すること。 2) 受注者は、工事完成後速やかにマニフェストの写しを監督員に提出しなければならないものとする。 その他 1) 濁水処理量については、舗装版の切断延長や切断厚が変わった場合を除き、原則として設計変更の対称としないものとする。 2) 受注者は、舗装版切断時に濁水を生じない工法を使用する場合においては、事前に監督員と協議するものとする。 3) 疑義等が生じた場合については、別途監督員と協議するものとする。
67	鉄筋工事	鉄筋の種類 (5.2.1) 種類の記号 呼び径(mm) 備考 ・D295 ※D16以下 ・SD345 ※D19以上 ・ ・ 鉄筋の形状等 (5.2.2) 種類 種類の記号 網目の形状、寸法、鉄線の径(mm) 使用部位 ・溶接金網 ・鉄筋格子 鉄筋の継手方法等 (5.3.4) 部位 継手方法 呼び径(mm) 柱、梁の主筋 ・ガス圧接 ・機械式継手 ※D19以上 耐力壁の鉄筋 ・重ね継手 基礎、耐圧スラブ、土圧壁 ・重ね継手 ・ガス圧接 その他の鉄筋( ) ・重ね継手 継手位置 図示による(構造関係共通図(配筋標準図)5.1, 6.1, 7.1, 7.3, 8.1) 基礎主筋の継手位置 ・図5.2 ・図5.3 ・図5.4 図示による( ) 柱及び梁の重ね継手の長さ 図示による( ) 耐力壁の鉄筋の重ね継手の長さ ※図示による(構造関係共通図(配筋標準図)3(1)(9)) 図示による 柱及び梁の主筋で隣り合う継手を同一箇所へ設ける部分の位置及び施工方法等 図示による( ) 鉄筋の定着長さ ※図示による(構造関係共通図(配筋標準図)3(2)) 図示による( ) 鉄筋の余長の長さ 構造関係共通図(配筋標準図)による。これによらない箇所は図示による。 最小かぶり厚さ(目地底から算出を行う) ※図示による(構造関係共通図(配筋標準図)4(1)表4.1) 図示による( ) 柱及び梁の主筋にD29以上の使用 あり 適用箇所( ) 主筋のかぶり厚さを径の1.5倍以上確保する 耐久性等不利な部分(塩害等を受けるおそれのある部分等) あり 適用箇所( ) ・最小かぶり厚さに加える厚さ ( ) mm 各部配筋 (5.3.7) ※図示による 7 ガス圧接 (5.4.10) 圧接完了後の圧接部の試験 外観試験 (全ての圧接部) 抜取試験 ※超音波探傷試験(試験方法 標準仕様書5.4.10(4)(a)による) 引張試験 試験方法 ※標準仕様書5.4.10(4)(b)による 機械式継手 (5.5.2) 適用箇所 図示による( ) H12建告第1463号に適合する性能 ・A級 機械式継手の種類 図示による( ) 鉄筋相互のあき 図示による( ) 施工完了後の継手部の試験 図示による( ) 不合格となった継手部への措置 図示による( ) 9 溶接継手 (5.6.3) 適用箇所 図示による( ) H12建告第1463号に適合する性能 ・A級 機械式継手の種類 図示による( ) 鉄筋相互のあき 図示による( ) 施工完了後の継手部の試験 図示による( ) 不合格となった継手部への措置 図示による( )
68	工事名 美杉台小学校校舎南棟トイレ改修工事(建築工事)	図面番号 A-05
69	図面名 特記仕様書-5	縮尺 -(A1) -(A3)

11	①	コンクリートの種類等	類別 (6.2.1) ※I類 (JIS A 5308 への適合を認証されたコンクリート) ・II類 (JIS A 5308 に適合したコンクリート) 普通コンクリート (6.2.1~6.2.4) <table border="1"> <thead> <tr> <th>設計基準強度 (N/mm<sup>2</sup>)</th> <th>気乾単位容積質量 (t/m<sup>3</sup>)</th> <th>スランブ</th> <th>適用箇所</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>24</td> <td>2.3程度</td> <td>15又は18</td> <td>8</td> </tr> <tr> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> </tbody> </table> 構造体強度補正值(S) (6.3.2) ※標準仕様書 表6.3.2による 補正值 S=3 (月日~月日、月日~月日) S=6 (月日~月日、月日~月日)	設計基準強度 (N/mm <sup>2</sup> )	気乾単位容積質量 (t/m <sup>3</sup> )	スランブ	適用箇所	24	2.3程度	15又は18	8	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	14	無筋コンクリート	コンクリートの種類 (6.14.1) ※普通コンクリート セメントの種類 ※普通ポルトランドセメント、高炉セメントA種、シリカセメントA種又はフライアッシュセメントA種 ・高炉セメントB種 ・フライアッシュセメントB種 設計基準強度 ※18 (N/mm <sup>2</sup> ) スランブ ※15cm又は18cm 適用箇所 ※標準仕様書6.14.1(4)による箇所 ・図示による ( ) 実施要領 15 コンクリートの (1)単位水量の測定は、150㎡に1回以上及び荷下し時に品質の異常が認められた時に実施する。 (2)単位水量の上限値は、標準仕様書6.3.2(4)(c)による。 (3)単位水量の管理目標値は次の通りとして、施工する。 1)測定した単位水量が、計画調査書の設計値(以下、「設計値」という。)±15kg/m <sup>3</sup> の範囲にある場合はそのまま施工する。 2)測定した単位水量が、設計値±15を超過±20kg/m <sup>3</sup> の範囲にある場合は、水量変動の原因を調査するとともに生コン製造者に改善を指示し、その運搬車の生コンは打設する。その後、設計値±15kg/m <sup>3</sup> 以内で安定するまで、運搬車の3台毎に1回、単位水量の測定を行う。 3)設計値±20kg/m <sup>3</sup> を超える場合は、生コンを打込まずに持ち帰らせ、水量変動の原因を調査するとともに生コン製造者に改善を指示しなければならない。その後の全運搬車の測定を行い設計値±20kg/m <sup>3</sup> 以内であることを確認する。更に、設計値±15kg以内で安定するまで、運搬車の3台毎に1回、単位水量の測定を行う。 4)3)の不合格生コンを確実に持ち帰ったことを確認する。 (4)単位水量管理についての記録を計画調査書、製造管理記録、打込み時の外気温、コンクリート温度等)と写真により提出する。 (5)単位水量の測定方法は、高周波誘電加熱乾燥法(電子レンジ法)、17-N法又は静電容量測定法による。また、試験機関は該当コンクリート製造所以外の機関とする。
	設計基準強度 (N/mm <sup>2</sup> )	気乾単位容積質量 (t/m <sup>3</sup> )	スランブ	適用箇所																						
	24	2.3程度	15又は18	8																						
	-	-	-	-																						
	-	-	-	-																						
	-	-	-	-																						
	②	セメント	種類 (6.3.1) ※普通ポルトランドセメント、高炉セメントA種、シリカセメントA種又はフライアッシュセメントA種 適用箇所(※下記以外全て) 普通ポルトランドセメントの品質は、JIS R 5210 に示された規定の他、水和熱が7日目で 352J/g以下、かつ28日目で 402J/g以下のものとする。 ・高炉セメントB種 適用箇所 (1FLより下部(立上り部含む)) ・フライアッシュセメントB種 適用箇所 ( )	⑬	コンクリートの単位水量測定	【現場特記事項】 本工事は、学校活動を行いながらの工事を前提としており、2系統のトイレを同時に施工することはできない工事である。 1系統は、夏休み前から工事に入り、夏休み終了と同時に利用を開始できるように工事を進めることとし、残りの1系統は、夏休み開始時から施工に入ること。 南棟廊下の床改修については、夏休み期間中に実施する工事とする。 夏休み期間【令和7年7月19日(土)~令和7年8月31日(日)】 夏休み以外の学校開校日は、学校生活に支障が出る作業は不可とし、搬入等も協議が必要なものとする。 夏休み以外の土、日曜日を利用した作業をする際は、月曜日から学校の活動に支障が出ないよう配慮すること。 南棟西側の給食室には、給食のための車両が、毎日停車するため、十分に注意すること。 本工事の既存物には内外装共にアスベスト含有建材が含まれている。(事前調査済) 撤去及び処分は法令を順守すること。 本工事の設計図及び完成図は製本の上、納品すること。また、別途発注工事の図面を含めて、1冊で納品とする。(別途発注工事：機械設備工事、電気設備工事)																				
	③	骨材	アルカリシリカ反応性による区分 (6.3.1) ※A ・ B (コンクリート中のアルカリ総量が 3.0 kg/m <sup>3</sup> 以下)																							
	④	混和材料	・混和剤 (6.3.1) 混和剤の種類 ※標準仕様書6.3.1(4)(a)による ・混和材 混和材の種類 ※標準仕様書6.3.1(4)(b)による																							
	5	打継ぎの位置、ひび割れ誘発目地、打継ぎ目地	打継ぎの位置 (6.6.4) 梁及びスラブ ※スパンの中央又は端から1/4の付近 ・図示による ( ) 柱及び壁 ※スラブ、壁梁又は基礎の上端 ・図示による ( ) 目地の寸法 (6.6.4)(6.8.1)(9.7.3) ・標準仕様書 9.7.3(1)(ア)~(イ)による ※ひび割れ誘発目地、打継目地の深さ寸法は、躯体外側の打増し部で処理する ・図示による ( ) ひび割れ誘発目地の位置、形状、寸法 (6.8.1) ・図示による ( )																							
6	湿潤養生	湿潤養生の期間 (6.7.2) ・セメントの種類が普通エコセメントの場合 ( ) 日																								
7	コンクリートの仕上り	合板せき板を用いるコンクリートの打放し仕上げ (6.2.5)(6.8.2) <table border="1"> <thead> <tr> <th>種別</th> <th>適用箇所</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>A種</td> <td>※図示による(各種設備基礎立上り)</td> </tr> <tr> <td>B種</td> <td>※図示による( )</td> </tr> <tr> <td>C種</td> <td>※図示による( )</td> </tr> </tbody> </table> コンクリートの仕上りの平たんさ <table border="1"> <thead> <tr> <th>種別</th> <th>適用箇所</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>a種</td> <td>※図示による( )</td> </tr> <tr> <td>b種</td> <td>※図示による( )</td> </tr> <tr> <td>c種</td> <td>※図示による( )</td> </tr> </tbody> </table>	種別	適用箇所	A種	※図示による(各種設備基礎立上り)	B種	※図示による( )	C種	※図示による( )	種別	適用箇所	a種	※図示による( )	b種	※図示による( )	c種	※図示による( )								
種別	適用箇所																									
A種	※図示による(各種設備基礎立上り)																									
B種	※図示による( )																									
C種	※図示による( )																									
種別	適用箇所																									
a種	※図示による( )																									
b種	※図示による( )																									
c種	※図示による( )																									
8	打増し厚さ(打放し仕上げ部)	打増し厚さ (6.8.1) ・打放し仕上げの打増し厚さ(外部に面する部分に限る) ・20mm ・打放し仕上げの打増し厚さ(内部に面する部分に限る) ・10mm ・20mm ・外装タイル後張り面の打増し処理 ・20mm 打増し範囲 ・図示による ( )																								
9	型枠	せき板の材料及び厚さ (6.8.2) 合板(※12mm) (G) コンクリート打設時の充填性の確認のため、型枠の一部に透明型枠等を使用する場合は、強度、変形等について、事前に監督員と協議する。 ・断熱材を兼用した型枠の使用 適用箇所 ・図示による ( ) ・MCR工法用シートの使用 適用箇所 ・図示による ( ) 打増し厚さ ・20mm 打増し範囲 ・図示による ( ) スリーブの材質・規格等 ・図示による ( )																								
10	軽量コンクリート	存置期間及び取外し (6.8.4) ※標準仕様書6.8.4による ・普通エコセメントの場合(※図示による( ) )																								
11	寒中コンクリート	適用箇所 (6.10.1.2) 図示による ( ) 種類 ・1種 ・2種 気乾単位容積質量 ・標準仕様書 表6.10.1による スランブ ※21cm																								
12	暑中コンクリート	適用期間(月日~月日) (6.11.1.2) 構造体強度補正值(S)を積算温度を基に定める場合 ・図示による ( )、S=( )																								
13	マスコンクリート	適用期間(月日~月日) (6.12.2) 構造体強度補正值(S) ※6N/mm <sup>2</sup> ・図示による ( )、S=( )																								
		適用箇所 (6.13.1.2) 図示による ( ) セメントの種類 ・普通ポルトランドセメント ・中熱ポルトランドセメント ・低熱ポルトランドセメント ・高炉セメントB種 ・フライアッシュセメントB種 ・シリカセメント 混和材料の適用 ・あり(標準仕様書6.13.2(2)(イ)による) ・標準仕様書6.13.2(2)(イ)による スランブ ※15cm 構造体強度補正值(S) ※標準仕様書 表6.13.1による																								



概要

計画地	住居表示(工事場所): 埼玉県飯能市美杉台一丁目29番地
地名地番	-
用途地域	第1種住居地域
防火地域	法22条区域
高度地区	-
日照規制	5mライン: 4時間, 10mライン: 2.5時間, 測定面: 4m
その他	-
敷地面積	24,741.00㎡ (業務特記仕様書より)
許容建ぺい率	60%
許容容積率	200%
施設名称	飯能市立美杉台小学校
基準法用途	小学校
消防法 防火対象物 用途区分	7項 小学校・中学校・高等学校・大学等
耐火種別	耐火建築物(想定)
工事種別	改修(トイレ改修)
構造	RC造(校舎のみ)
基礎	杭基礎(校舎のみ)
規模	地上3階/地下0階(校舎のみ)
延床面積	5,755.353㎡(校舎のみ) ※既存図面より
建築面積	2,444.923㎡(校舎のみ) ※既存図面より
その他	-

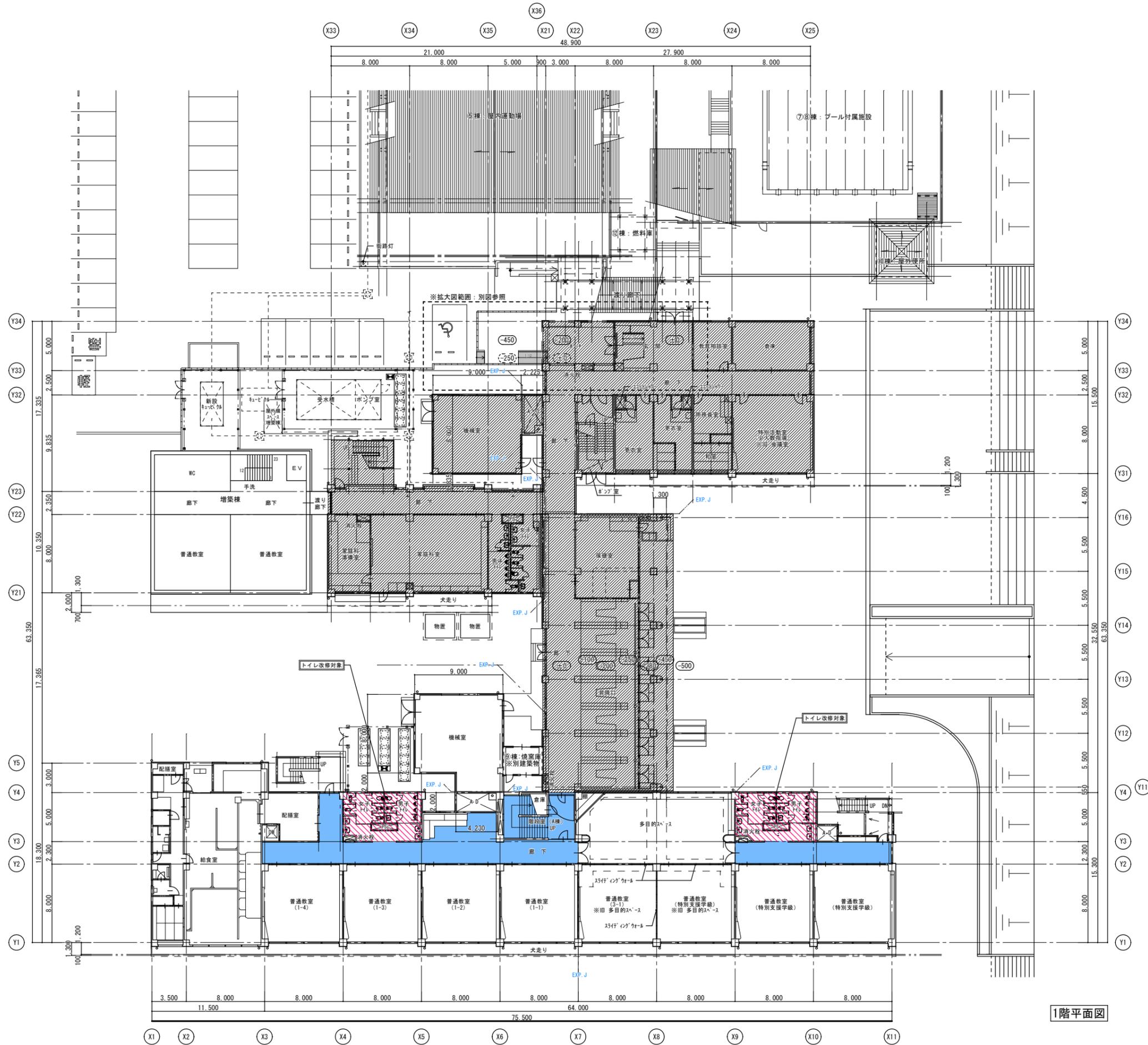
建築概要-建物別		①棟 左記計					①棟 併行改修工事必要造				①棟(左記合計)		②棟	③棟	④棟	⑤棟	⑥棟	⑦棟	⑧棟	⑨棟	⑩棟	⑪棟	⑫棟	合計
H5確認申請時 棟名等	棟番号(台帳)	南校舎		北校舎			校舎(北・南校舎)		校舎(北・南校舎)		校舎	プナ室	屋内運動場	屋外運動場	更衣室	倉庫	焼窯庫	外便所	-	-	-	-	-	-
棟名(台帳)		[A]棟	[B]棟	[C]棟	[D]棟	[E]棟	新築時部分 (①~④-1)	増築部分 (④-2)	機械室+AD 新築時部分	機械室+AD 増築部分	校舎	-	⑤	-	⑦⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬	⑭	⑮	⑯	合計
竣工年		H.6	H.1	H.1	H.1	H.1	H.1	H.6	H.1	H.6	H.1	H.1	H.1	H.1	H.1	H.1	H.1	H.1	H.1	H.1	H.1	H.1	H.1	H.1
構造		RC造	RC造	RC造	RC造	RC造	RC造	RC造	RC造	RC造	RC造	鋼板製	S造	木造	S造	RC造	RC造(CB造)	RC造+木造	S造	S造	S造	S造	S造	S造
延床面積		PHF -1㎡	38,423㎡	-1㎡	-1㎡	-1㎡	38,423㎡	-1㎡	-1㎡	43,569㎡	38,423㎡	-1㎡	-1㎡	-1㎡	-1㎡	-1㎡	-1㎡	-1㎡	-1㎡	-1㎡	-1㎡	-1㎡	-1㎡	-1㎡
		4F	457,328㎡	477,137㎡	-1㎡	227,112㎡	1,012,250㎡	457,328㎡	16,460㎡	3,633㎡	1,489,671㎡	-1㎡	-1㎡	-1㎡	-1㎡	-1㎡	-1㎡	-1㎡	-1㎡	-1㎡	-1㎡	-1㎡	-1㎡	-1㎡
		3F	457,328㎡	477,137㎡	-1㎡	227,112㎡	1,454,723㎡	457,328㎡	16,460㎡	3,633㎡	1,932,144㎡	-1㎡	-1㎡	-1㎡	-1㎡	-1㎡	-1㎡	-1㎡	-1㎡	-1㎡	-1㎡	-1㎡	-1㎡	-1㎡
		2F	457,328㎡	477,137㎡	-1㎡	227,112㎡	1,454,723㎡	457,328㎡	16,460㎡	3,633㎡	1,932,144㎡	-1㎡	-1㎡	-1㎡	-1㎡	-1㎡	-1㎡	-1㎡	-1㎡	-1㎡	-1㎡	-1㎡	-1㎡	-1㎡
		1F	484,720㎡	687,257㎡	-1㎡	227,112㎡	1,592,223㎡	484,720㎡	170,970㎡	3,633㎡	2,251,546㎡	10,000㎡	846,478㎡	28,620㎡	127,277㎡	34,400㎡	9,937㎡	26,010㎡	25,6725㎡	8,5424㎡	8,5424㎡	8,5424㎡	8,5424㎡	8,5424㎡
		合計	1,399,376㎡	1,679,954㎡	586,346㎡	681,336㎡	1,149,983㎡	4,097,619㎡	1,399,376㎡	54,468㎡	5,755,353㎡	10,000㎡	881,848㎡	28,620㎡	127,277㎡	34,400㎡	9,937㎡	26,010㎡	25,6725㎡	8,5424㎡	8,5424㎡	8,5424㎡	8,5424㎡	6,873,445㎡
建築面積		右記	右記	右記	右記	右記	1,763,795㎡	505,085㎡	172,410㎡	3,633㎡	2,444,923㎡	10,000㎡	895,457㎡	28,620㎡	127,277㎡	34,400㎡	9,937㎡	26,010㎡	25,6725㎡	8,5424㎡	8,5424㎡	8,5424㎡	8,5424㎡	3,576,624㎡
備考		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

共通事項		凡例				外部仕上表	
外 部	・外部改修なし（設備工事による改修あり）	RC	鉄筋コンクリート	SOP	合成樹脂調合ペイント塗り	部位	
		LGS	軽量鉄骨壁・天井下地	CL	クリヤラッカー塗り		
		GL	GL工法	NAD	アクリル樹脂系非水分散系塗料塗り	陸屋根	ウレタン防水脱気工法
		GB-R	石膏ボード	DP	耐候性塗料塗り		
内 部	<ul style="list-style-type: none"> <li>・建材および天井内はF☆☆☆☆を使用のこと。（シックハウス仕上は全て規制対象外）</li> <li>・建築基準法第28条の2に基づき、建材および天井内はF☆☆☆☆（規制対象外建築材料）を使用する</li> <li>・建築基準法第28条の2（石綿その他関係）の第三号に規定する材料を使用すること。</li> <li>・2室の室内環境測定を実施する。</li> <li>・環境測定については、「パッシブ法」とし、ホルムアルデヒド、トルエン、キシレン、エチルベンゼン、スチレン、パラジクロロベンゼンの6物質を対象とする。</li> <li>・仕上げ色については別途監督員提示の色影計画書による。</li> </ul>	GB-R-H	硬質石膏ボード	EP-G	ツヤ有合成樹脂エマルジョンペイント塗り	勾配屋根	ダクト材 330 鋼板 耐摩材 t0.4
		GB-F	強化石膏ボード	EP	合成樹脂エマルジョンペイント塗り	外壁-1	一般：コンクリート打放しの上、アクリル吹付け★ 軒天：コンクリート打放しの上、アクリル吹付け★ 軒天：コンクリート打放しの上、アクリル吹付け★ 柱間：コンクリート打放しの上、アクリル吹付け★ 梁間：コンクリート打放しの上、アクリル吹付け★ ※★：F☆☆☆☆含有建材。
		GB-S	シーリング石膏ボード	EP-T	合成樹脂エマルジョン模様塗料塗り		
		GB-D	化粧石膏ボード	UC	ウレタン樹脂ワニス塗り		
		GB-NC	不燃積層石膏ボード	LE	ラッカーエナメル塗り		
		GB-P-1	吸音用穴あき石膏ボード	OS	オイルステイン塗り	巾木	コンクリート打放し 目地切り
		GB-P-2	化粧石膏吸音ボード	WP	木材保護塗料塗り		
		GB-P-3	特殊石膏吸音ボード	FH	コンクリート打放し用上 水性フッ素樹脂保護塗装		
		DR	岩綿吸音板	2-FUE	常温乾燥形フッ素樹脂エナメル塗り	パルコ	床：防水樹脂金ゴテ t30~50 巾木：防水樹脂金ゴテ H=150 手すり内側：コンクリート打放し アクリル吹付け★ 軒天：コンクリート打放しの上、アクリル吹付け★
		RW	ロックウール	2-UE	2液形ポリウレタンエナメル塗り		
		GW	グラスウール	JP	ジェットバーナーポリッシュ仕上げ	パレット	壁：コンクリート打放しの上、アクリル吹付け★ 笠木：コンクリート直押えの上、吹付け★
		VP	硬質塩化ビニル管	HL	ステンレスヘアライン仕上げ		
			VHL	ステンレスバイブレーション仕上げ			

内部仕上表	
・各詳細図参照	
犬走り	コンクリート打放し金ゴテ押え 目地切り
	床：防水樹脂金ゴテ押え 蹴上：防水樹脂金ゴテ押え 踏面：防水樹脂金ゴテ押えの上、ノスリ仕上げ★ 壁：コンクリート打放しの上、アクリル吹付け★ 巾木：防水樹脂金ゴテ H=100 段裏：コンクリート打放しの上、アクリル吹付け★
	天端：防水樹脂金ゴテ押え 軒天：コンクリート打放しの上、アクリル吹付け★
	陸屋根：コンクリート打放し金ゴテ押えの上、F☆☆☆☆露出防水（C-2） 犬走り：コンクリート打放し金ゴテ押え 巾木：コンクリート打放し 目地切り 外壁：コンクリート打放しの上、アクリル吹付け★ 庇天端：防水樹脂金ゴテ 庇下端：コンクリート打放しの上、アクリル吹付け★
	軒化粧うで木：米揃 外側トどぶづけ

工事区分表

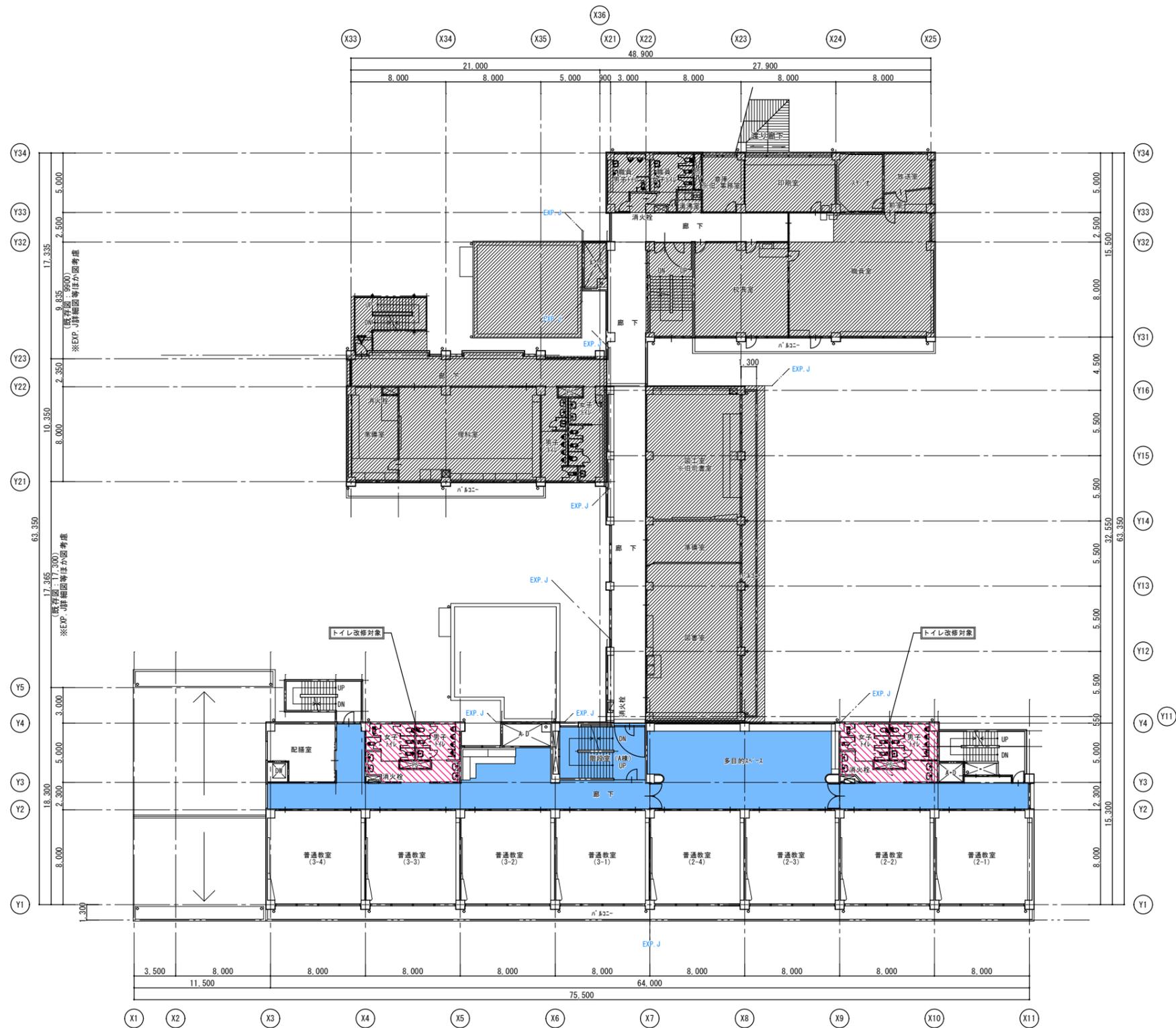
項 目		備 考		項 目		備 考		項 目		備 考		項 目		備 考																	
躯体関係		A	E	M	別	仕上げ関係		A	E	M	別	屋外排水設備・外構		A	E	M	別	電気配線配管		A	E	M	別								
1. RC造 (床・壁・床) の貫通孔・開口部	既存躯体のスリーブ貫通孔はつり		●	●		1. 軽鉄天井・壁下地	補強を要するボードの切り込み及び下地の補強	●				衛生設備機器補強含む	1. 雑排水・汚水	屋外雑排水及び屋外汚水排水設備			●		機器付属の制御盤以降の配管配線（接地線共）			●									
	スリーブ設置		●	●			補強を要しないボードの切り込み		●	●					例及び併ふた			●				機器付属の制御盤への電源供給配管配線			●		1次側				
	スリーブ設置後の穴埋め補修		●	●			開口部の墨出し			●	●											自動制御と動力盤との電源供給の誤り配管配線	●								
	既存壁・スラブの開口部の設置	●				2. フリボルト及び インサート	設備機器・器具・配管・配線・ダクト用		●	●			2. その他	外部枠補足場	●				機器と付属操作スイッチの誤り配管配線			●									
	躯体開口部及びスリーブ設置に伴う補強	●					天井用		●					内部足場	●					煙感知器から通動制御盤を経て防煙ダクトに 至る配管配線	●										
	既存躯体穴埋補修	●					既設床設備スリーブ共													小便器用節水装置の制御盤以降の配管配線			●								
	内部土間コンクリート撤去・復旧	●				3. 外壁まわり	ウエザーカバー、ベントキャップ				●									注油口内アース端子よりのアース用配管配線	●	●			自家費用はE						
							4. 便所まわり	洗面カウンター			●										水位制御用電極棒及びフロート	●									
								鏡撤去、新設			●										電気配線（接続）及び制御盤	●									
								身障者用手すり			●																				
					トイレブース撤去、新設					●																					
					5. その他	点検口（天井・床下）撤去・新設			●											その他			A	E	M	別					
						換気設備の新設					●									1. 仮設		●				足場、ゲート等の工事前仮設	●				
						外壁の設備取外し・再取付、新設		●	●											現場事務所、作業小屋、倉庫等の設置		●	●	●							
																				2. その他		●				環境測定					



- 【トイレ改修】
- 【廊下・階段床改修】
- 1階～3階 廊下
- 床：ビニル床シートマ-フル t=2.0 668.0㎡
  - 幅木：ビニル幅木 t=2.0 H=100 200.0m
- 階段
- 床：ビニル床シート無地 t=2.0 54.0㎡
  - 幅木：サワ幅木 H=330程度 23.1m
- ※階段のノンスリップは取り外し再取り付けとする。

1階平面図

<p>工事名 美杉台小学校校舎南棟トイレ改修工事（建築工事）</p>		<p>図面番号 A-09</p>	
<p>図面名 1階平面図</p>		<p>縮尺 1/200 (A1) 1/400 (A3)</p>	

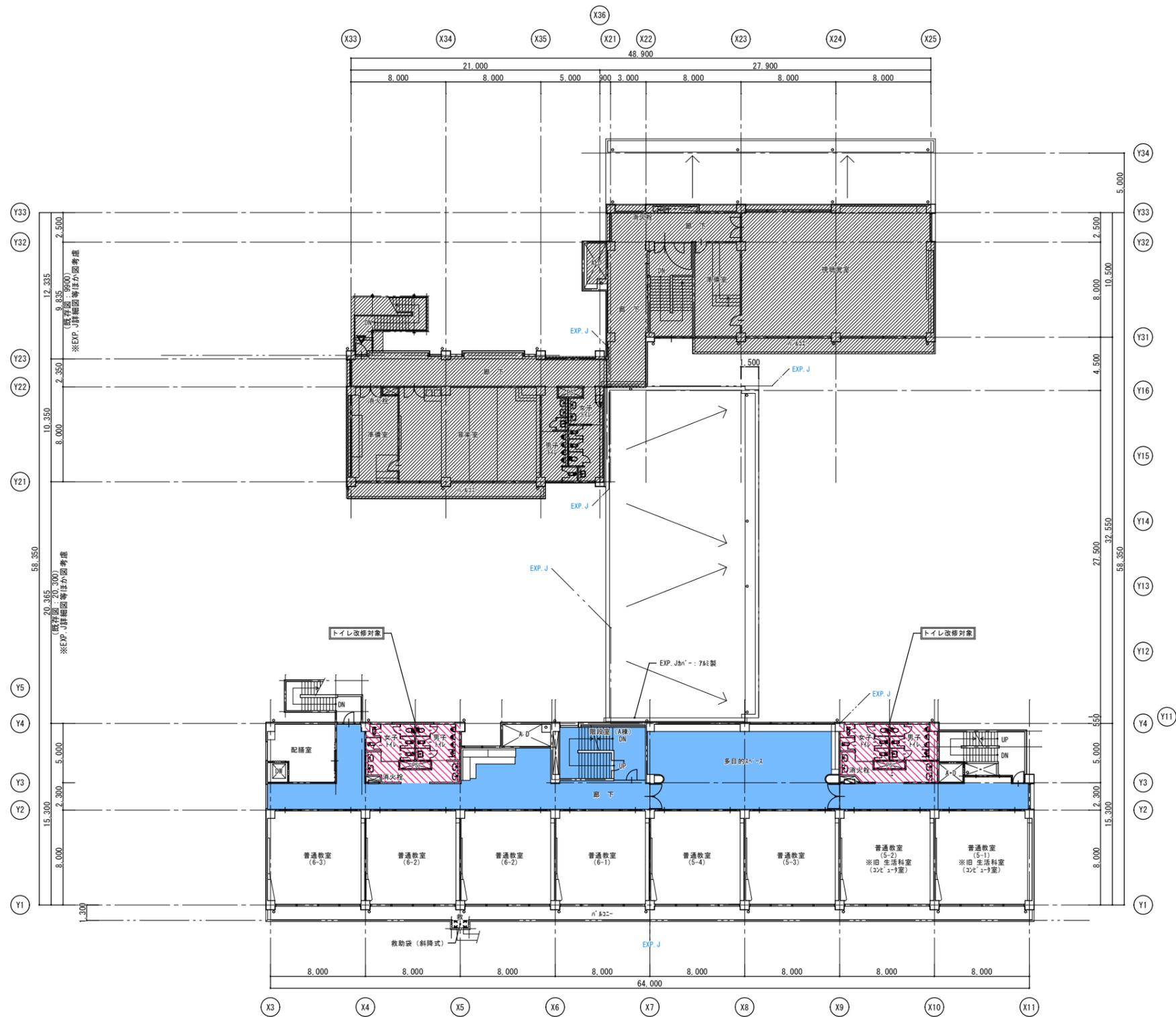


2階平面図

- 【トイレ改修】
- 【廊下・階段床改修】



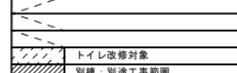
<div style="width: 10px; height: 10px; background-color: #cccccc; border: 1px solid black; margin: 0 auto;"></div> トイレ改修対象 <small>別棟：別途工事範囲</small>		工事名 美杉台小学校校舎南棟トイレ改修工事（建築工事） 図面名 2階平面図	縮尺 1/200 (A1) 1/400 (A3)	図面番号 <b>A-10</b>
--	--	--	-----------------------------	---------------------

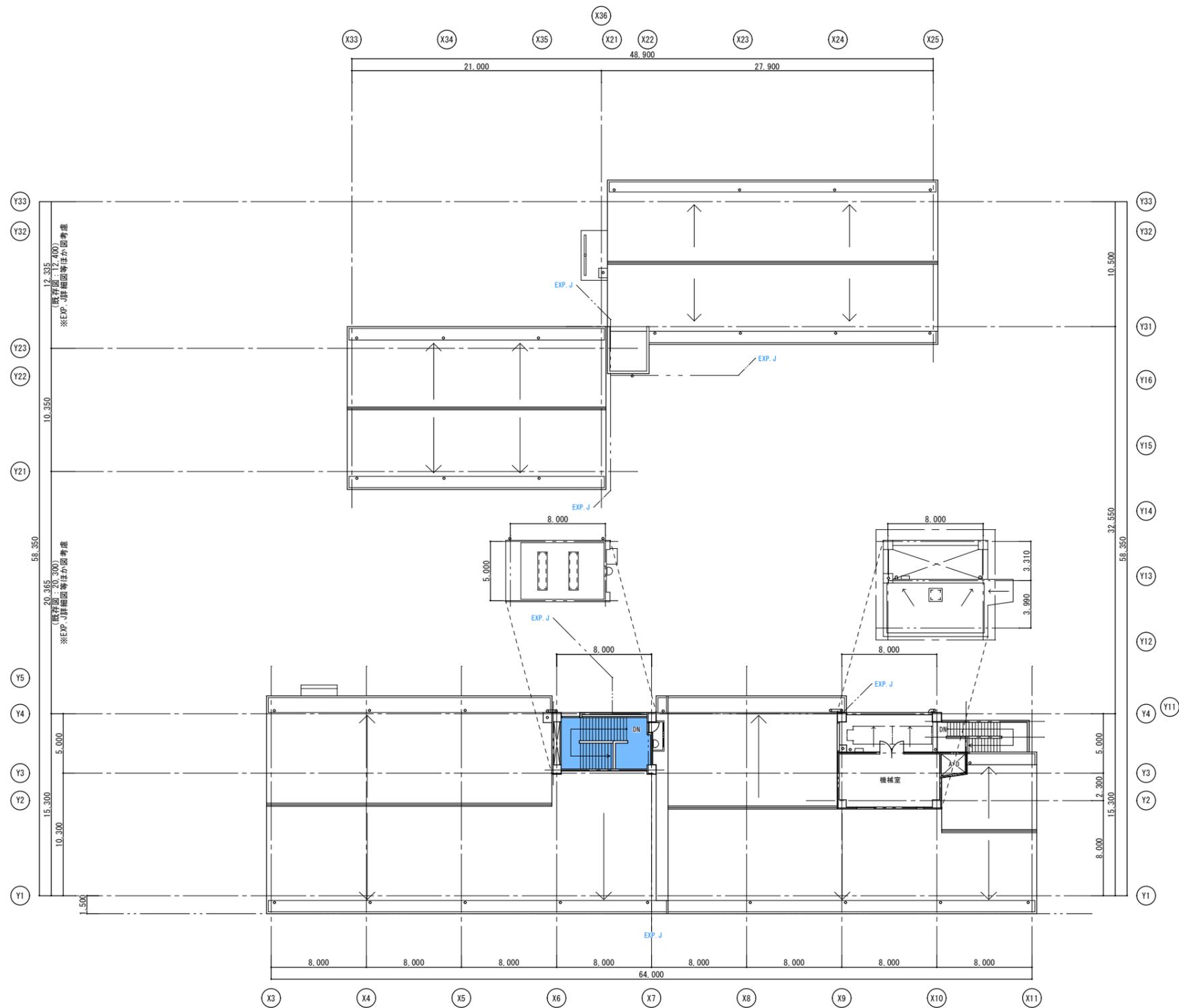


【トイレ改修】    
 【廊下・階段床改修】 

3階平面図



	工事名 美杉台小学校校舎南棟トイレ改修工事（建築工事）		図面番号 <b>A-11</b>
	図面名 3階平面図	縮尺 1/200 (A1) 1/400 (A3)	



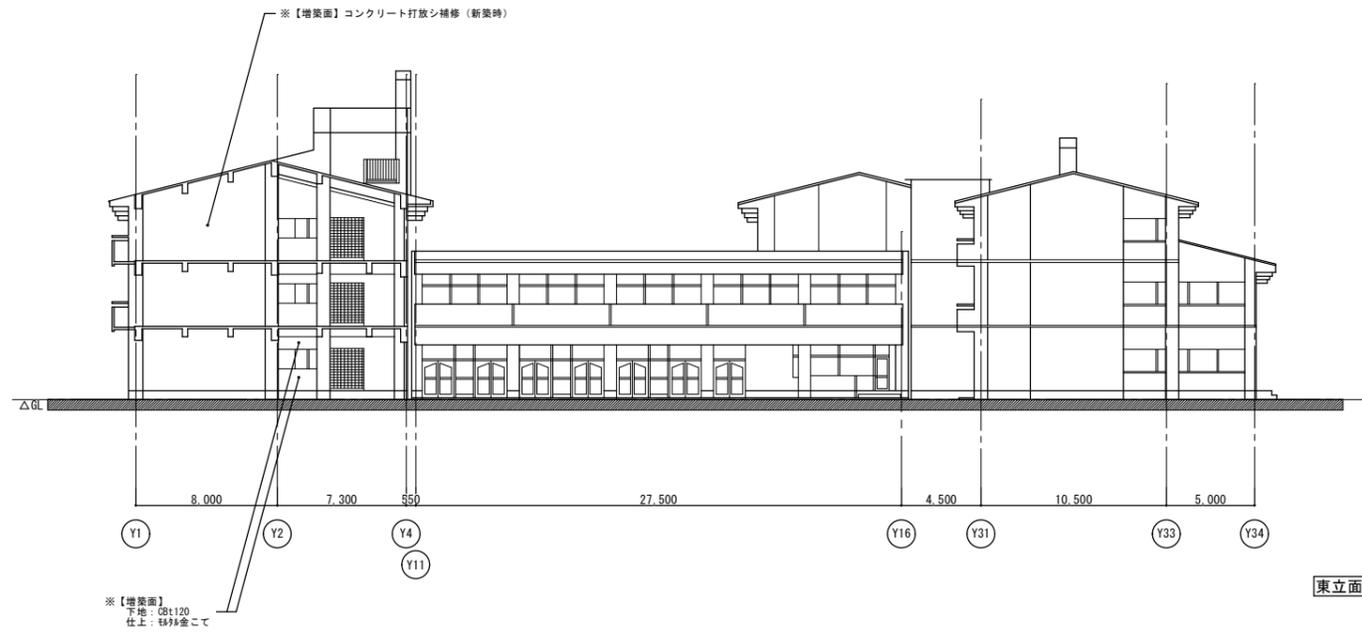
【廊下・階段床改修】



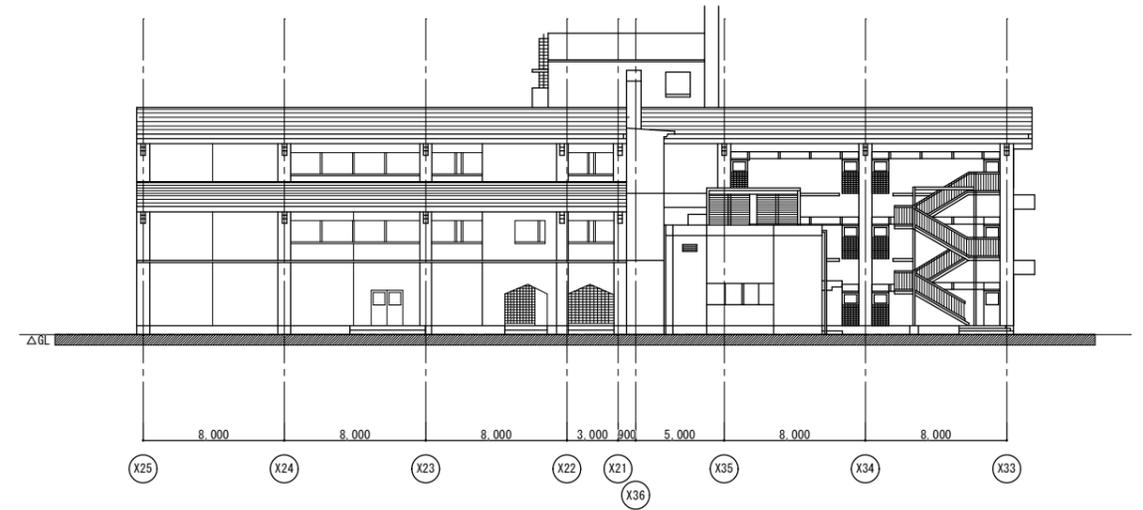
R、PH階 平面図



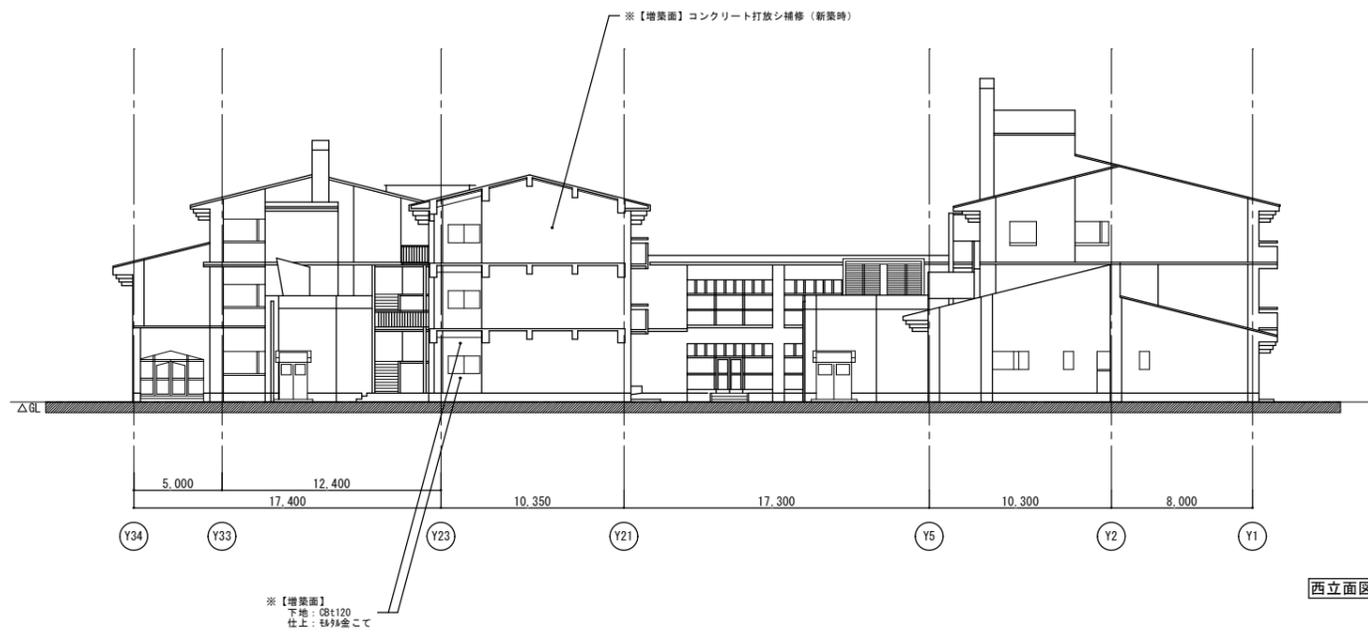
トイレ改修対象 別棟：別途工事範囲	工事名 美杉台小学校校舎南棟トイレ改修工事（建築工事）	図面番号 <b>A-12</b>
	図面名 R、PH階 平面図	縮尺 1/200 (A1) 1/400 (A3)



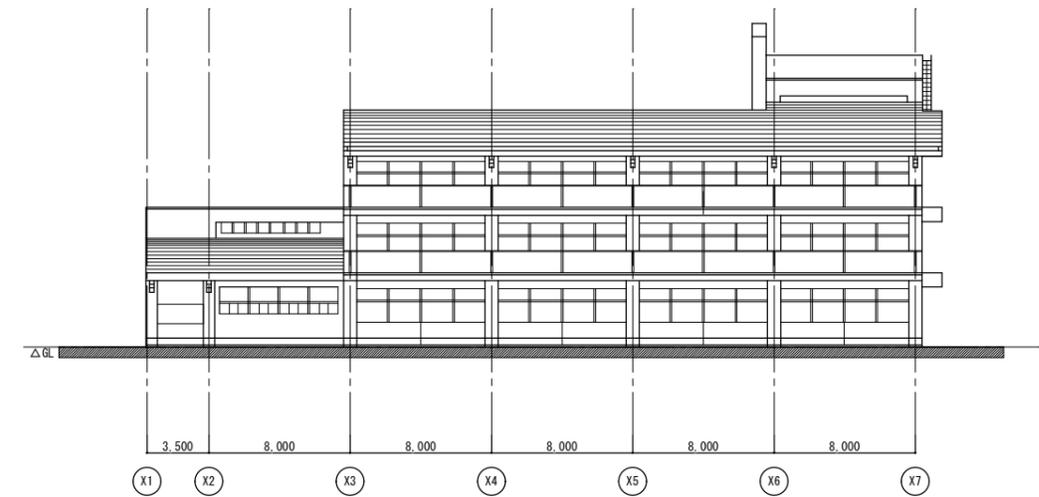
東立面図



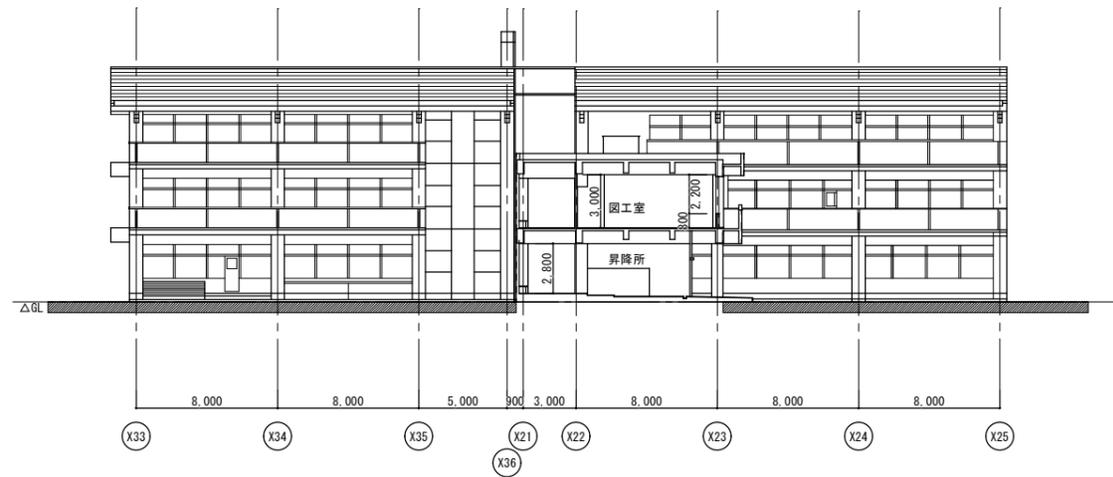
北立面図



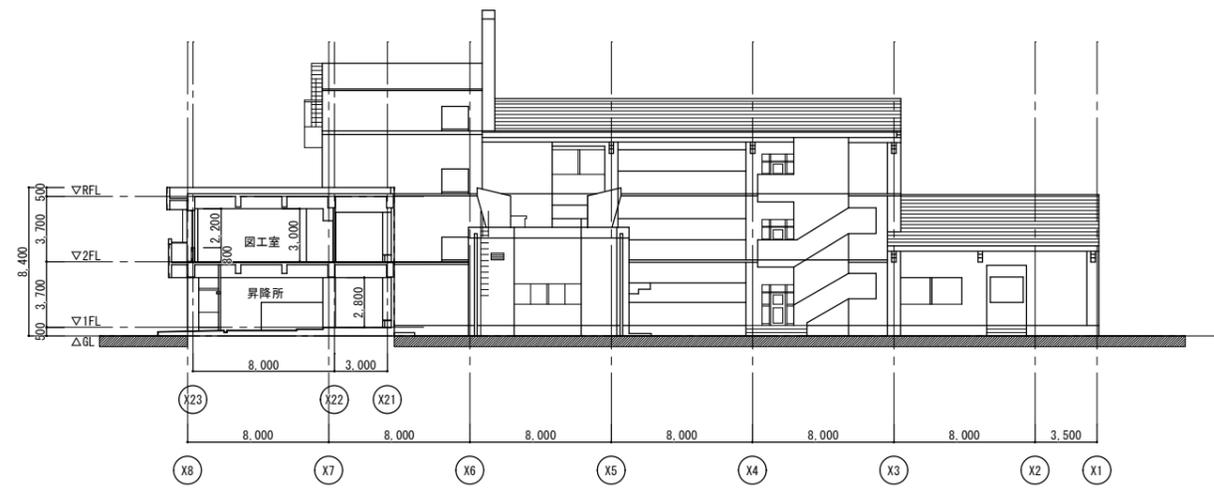
西立面図



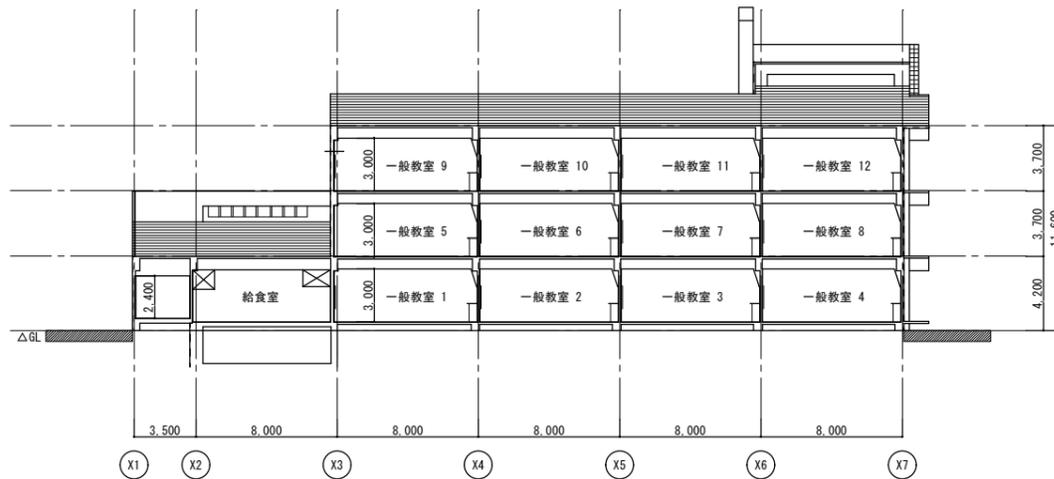
南棟（A棟-西側）南立面図  
※新築時



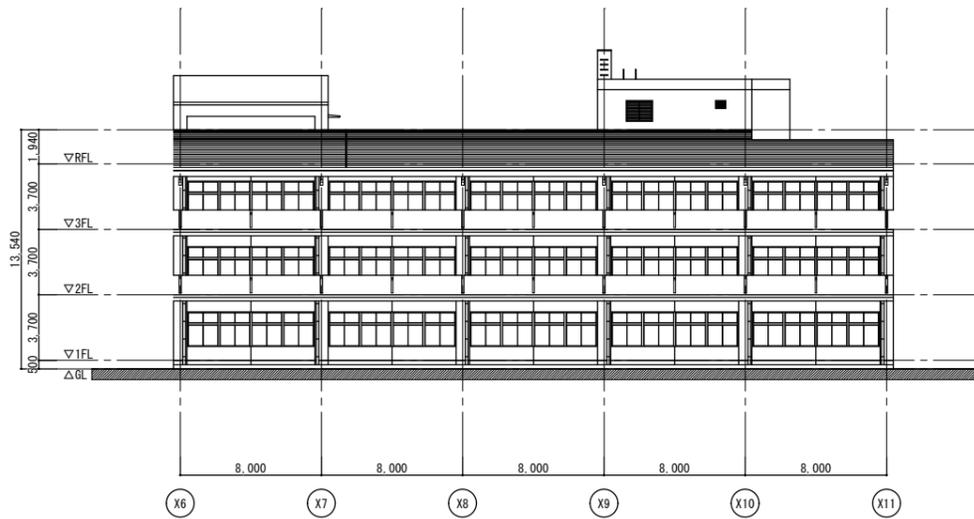
北棟（B棟）南断面図



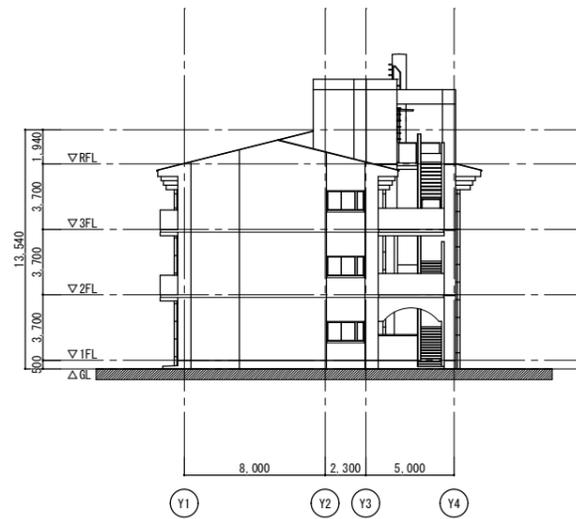
北棟（B棟）北断面図  
※新築時



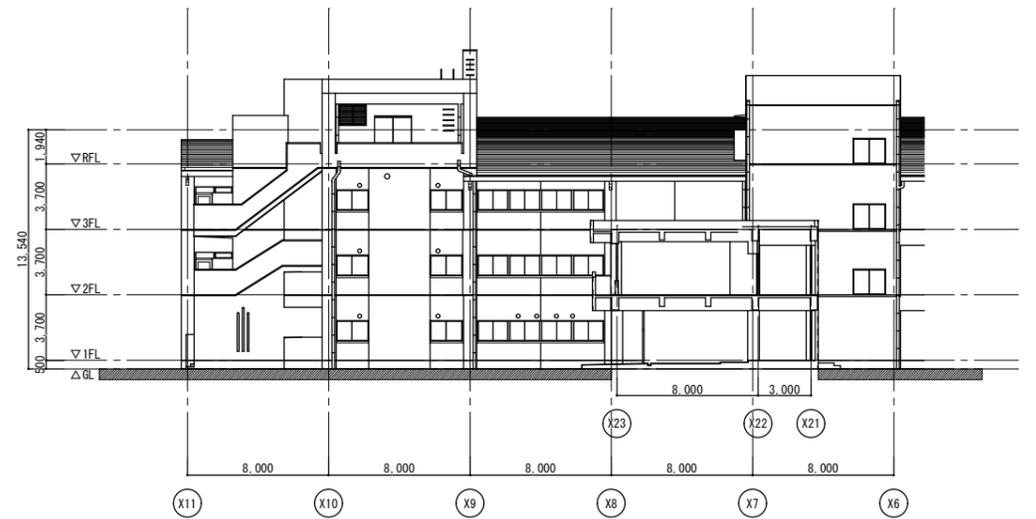
南棟（A棟-西側）南断面図  
※新築時



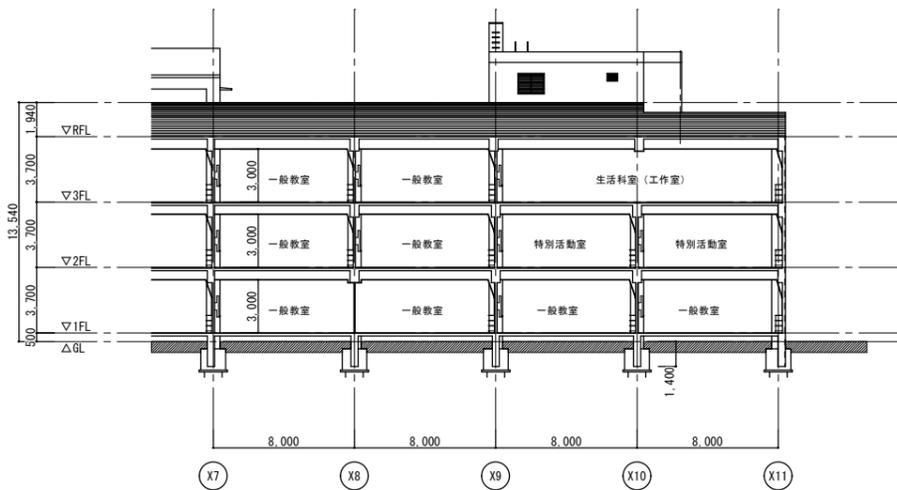
南棟（A棟-東側）南立面図  
※増築時



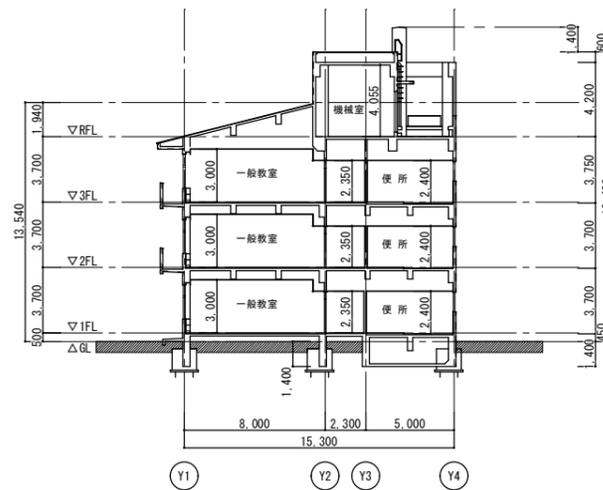
南棟（A棟-東側）東立面図  
※増築時



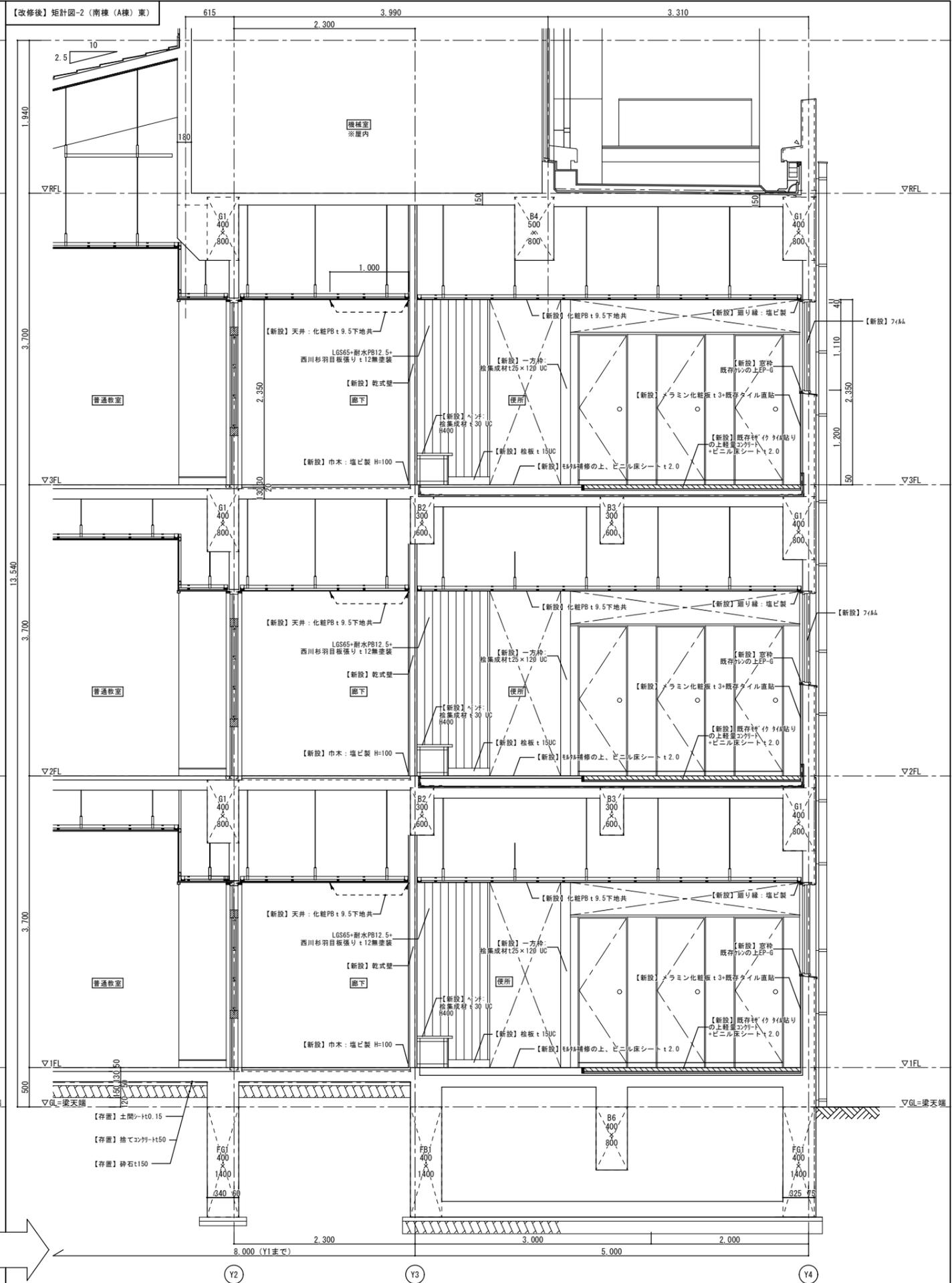
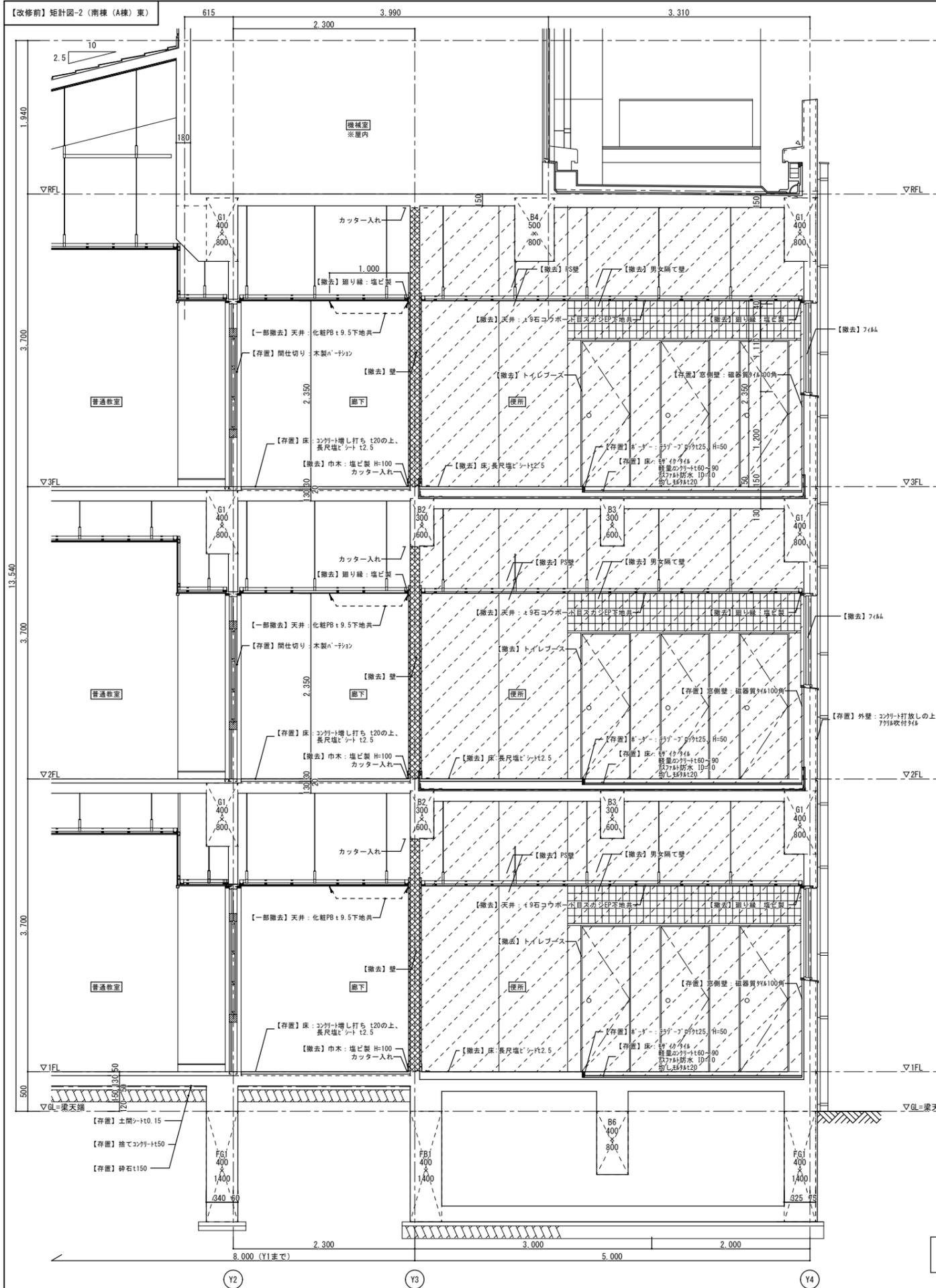
南棟（A棟-東側）北立面図  
※増築時



南棟（A棟-東側）南断面図  
※増築時

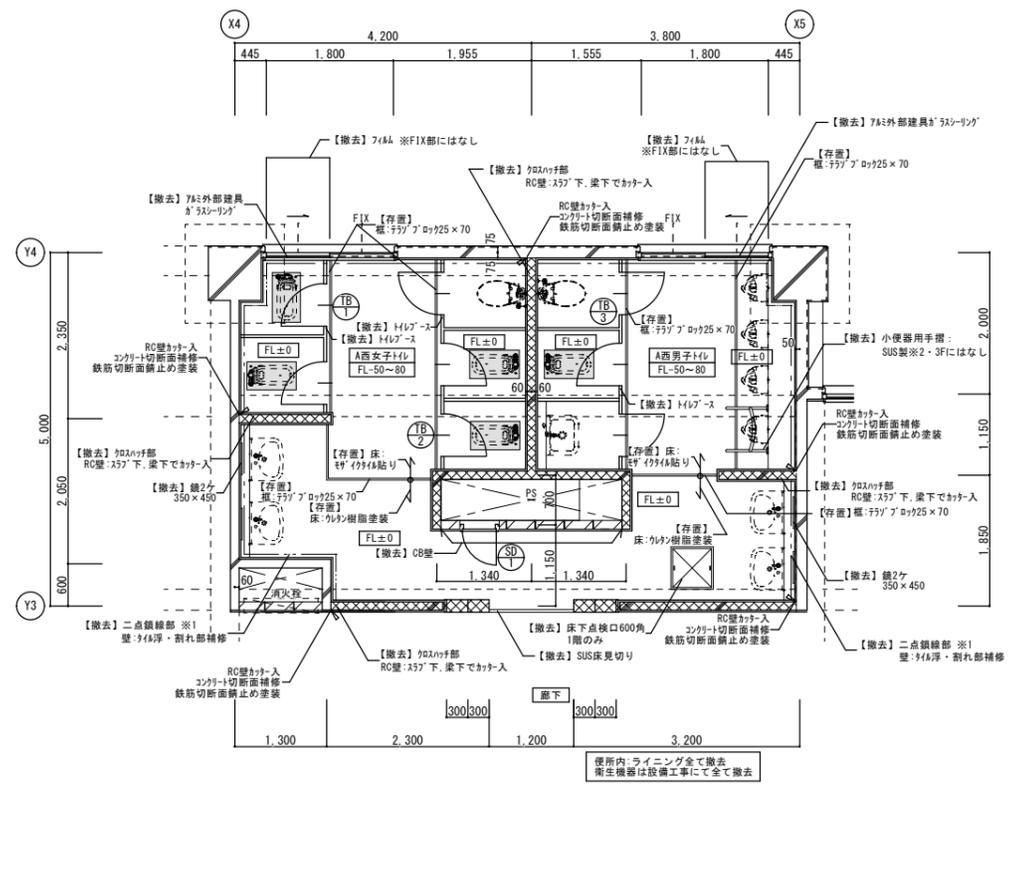


南棟（A棟-東側）東断面図  
※増築時

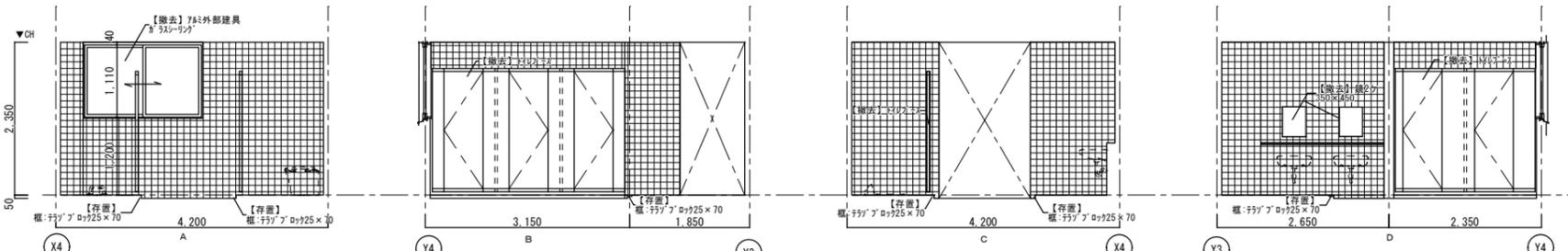


<table border="1"> <tr> <th>凡例</th> <th>【撤去】</th> <th>【新設】</th> </tr> <tr> <td></td> <td>【撤去】コンクリート・モルタル 断面部</td> <td>【新設】軽量コンクリート</td> </tr> <tr> <td></td> <td>【撤去】RC壁、仕上等</td> <td>【撤去】RC壁、仕上等</td> </tr> </table>	凡例	【撤去】	【新設】		【撤去】コンクリート・モルタル 断面部	【新設】軽量コンクリート		【撤去】RC壁、仕上等	【撤去】RC壁、仕上等	<table border="1"> <tr> <th>凡例</th> <th>【新設】</th> </tr> <tr> <td></td> <td>【新設】RC壁、仕上等</td> </tr> </table>	凡例	【新設】		【新設】RC壁、仕上等	工事名 美杉台小学校校舎南棟トイレ改修工事 (建築工事) 図面名 矩計図 (南棟 (A棟) 東) 縮尺 1/30 (A1) 1/60 (A3)	図面番号 <b>A-16</b>
凡例	【撤去】	【新設】														
	【撤去】コンクリート・モルタル 断面部	【新設】軽量コンクリート														
	【撤去】RC壁、仕上等	【撤去】RC壁、仕上等														
凡例	【新設】															
	【新設】RC壁、仕上等															

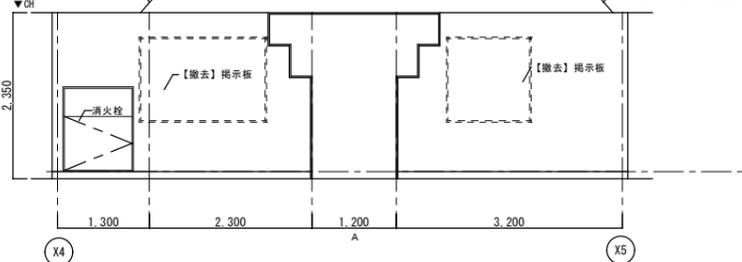
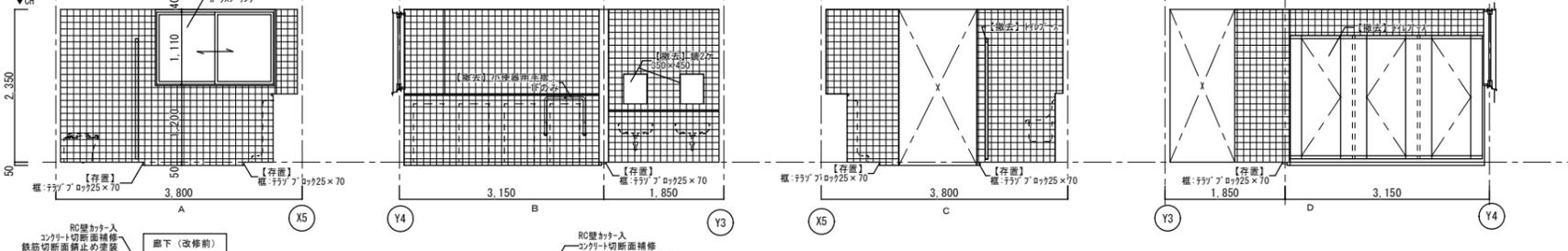
【改修前】トイレ平面詳細図・展開図



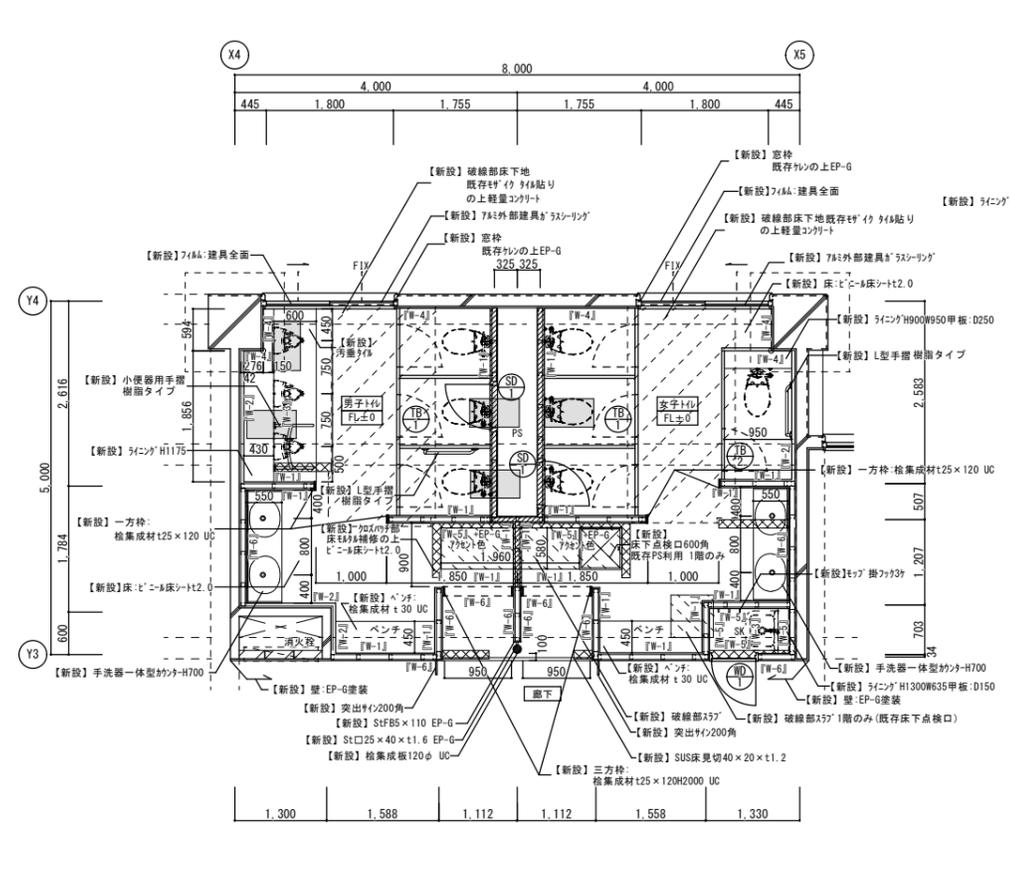
女子トイレ (改修前)



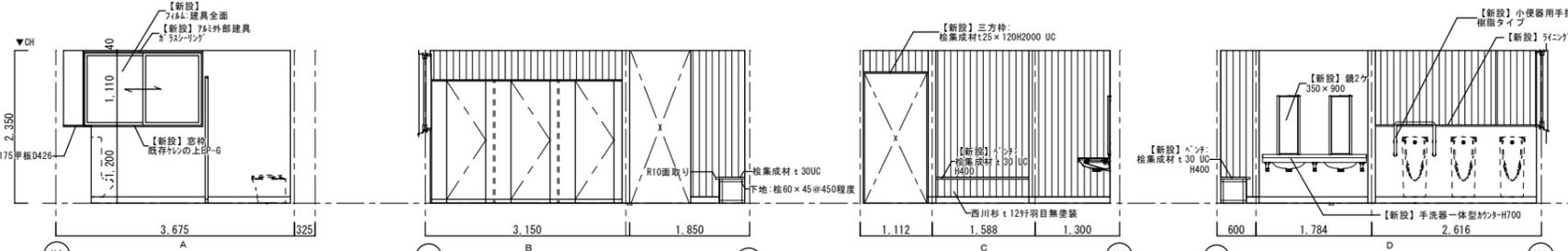
男子トイレ (改修前)



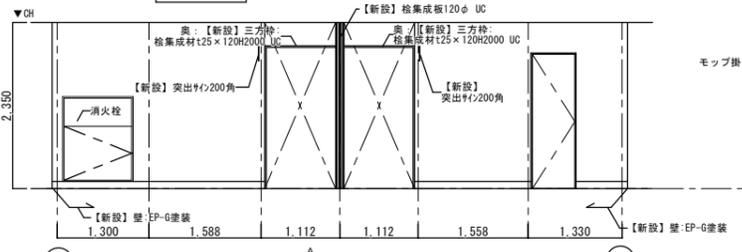
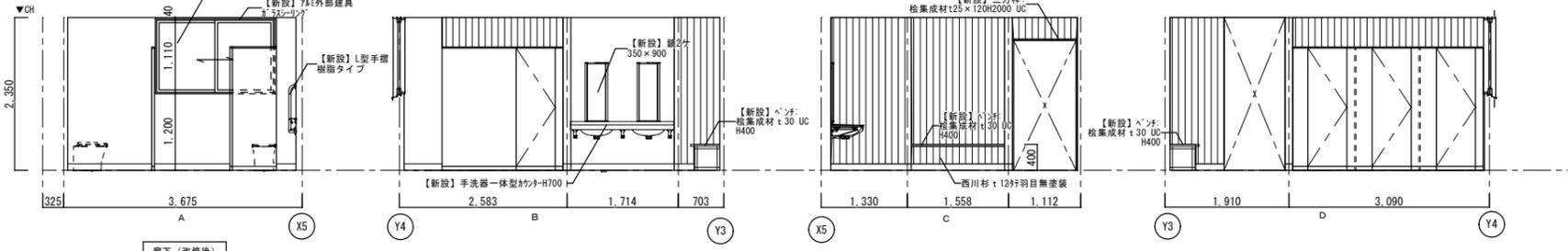
【改修後】トイレ平面詳細図・展開図



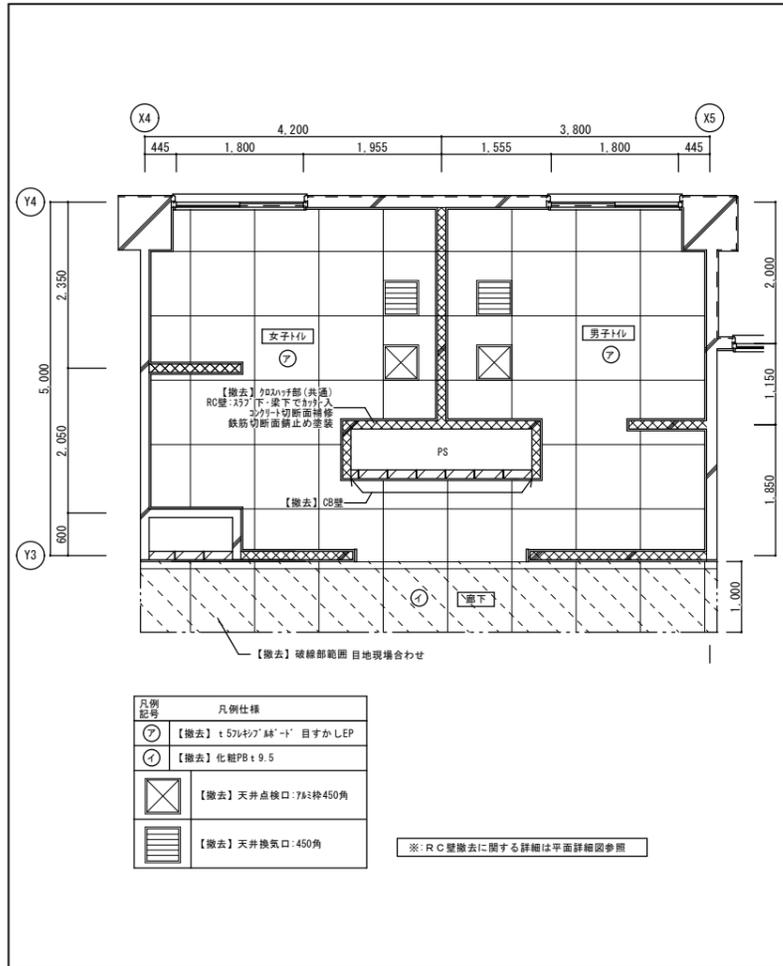
男子トイレ (改修後)



女子トイレ (改修後)



	※1: タイル補修率は10%を想定 甲種: 333*333*120 L型手摺: L700 手洗器一体型カマナ: 7&8: 333*333*120, 9: 440*333*120 両扉付、カマナ同材で立上りあり 別図参照	壁下地凡例 W-1 LGS55+耐水PB12.5+西川杉羽目板積り+12層塗装 W-2 網織30×40@455+西川杉羽目板積り+12層塗装 (下地共天井まで) 既存タイル残し W-3 LGS55+構造用合板+12化粧ケイカル t6	W-4 メラミン化粧板+3既存タイル直貼 W-5 LGS55+耐水PB12.5+化粧ケイカル t6 W-6 LGS55+耐水PB12.5+ケイカル t6+EP-G塗装 W-7 LGS55+耐水PB12.5+メラミン t3	凡例 【新設】上層スラブまで耐水PB12.5仕上のLGS壁 既存和便器 床復旧範囲 【新設】7&8;ナ金物	壁下サイン: 200角 フレーム: アルミ製材 表示基準: アルミ製材 フラライン仕上 汚塵材: TOTOハイドレソラ・フロア (厚型) 同等品 モップ掛け: 杉田エース SUSパイプ JF-70M 同等品	工事名 美杉台小学校校舎南棟トイレ改修工事 (建築工事) 図面名 A棟西便所 平面詳細図・展開図 縮尺 1/50(A1) 1/100(A3)	図面番号 A-17
	※1: タイル補修率は10%を想定 甲種: 333*333*120 L型手摺: L700 手洗器一体型カマナ: 7&8: 333*333*120, 9: 440*333*120 両扉付、カマナ同材で立上りあり 別図参照	壁下地凡例 W-1 LGS55+耐水PB12.5+西川杉羽目板積り+12層塗装 W-2 網織30×40@455+西川杉羽目板積り+12層塗装 (下地共天井まで) 既存タイル残し W-3 LGS55+構造用合板+12化粧ケイカル t6	W-4 メラミン化粧板+3既存タイル直貼 W-5 LGS55+耐水PB12.5+化粧ケイカル t6 W-6 LGS55+耐水PB12.5+ケイカル t6+EP-G塗装 W-7 LGS55+耐水PB12.5+メラミン t3	凡例 【新設】上層スラブまで耐水PB12.5仕上のLGS壁 既存和便器 床復旧範囲 【新設】7&8;ナ金物	壁下サイン: 200角 フレーム: アルミ製材 表示基準: アルミ製材 フラライン仕上 汚塵材: TOTOハイドレソラ・フロア (厚型) 同等品 モップ掛け: 杉田エース SUSパイプ JF-70M 同等品	工事名 美杉台小学校校舎南棟トイレ改修工事 (建築工事) 図面名 A棟西便所 平面詳細図・展開図 縮尺 1/50(A1) 1/100(A3)	図面番号 A-17



廊下 仕上表

床	【撤去】長尺塩ビシート直貼 t2.5	アスベスト含有材料	×
巾木	【撤去】ソフト巾木H100		○
壁	【一部撤去】珪藻土ゴテ EP		×
天井	【一部撤去】化粧PB t9.5下地共 FL-2.350		×
柱	【一部撤去】珪藻土ゴテEP		×
扉			

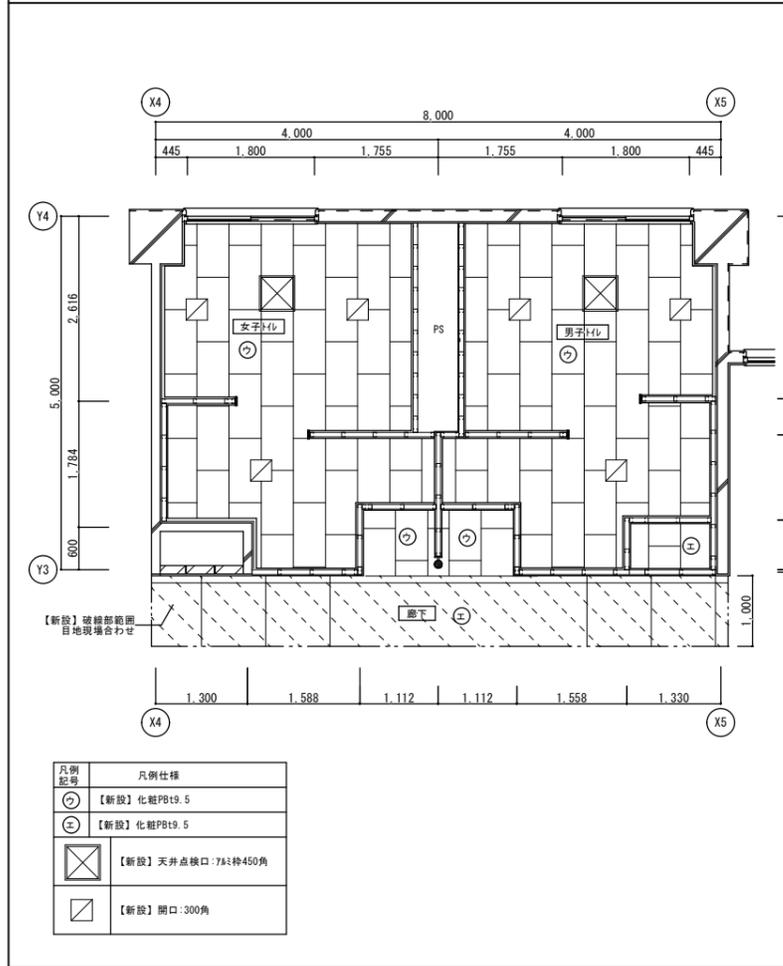
トイレ 仕上表

床	【存置】シタココンクリート均し珪藻土20の上 珪藻土貼 (洗面部) 珪藻土ゴテ下地ウレタン塗床	アスベスト含有材料	×
壁	【一部撤去】100角珪藻土		×
天井	【撤去】t5珪藻土貼 t' 目すかしEP下地共 FL-2.350		○
柱	【存置】100角珪藻土		×
扉	【撤去】床:点検口600×600 【撤去】タコタテ:珪藻土板 t25 【撤去】トリアックス化粧合板		

凡例

凡例記号	凡例仕様
⑦	【撤去】t5珪藻土貼 t' 目すかしEP
⑧	【撤去】化粧PB t9.5
⊗	【撤去】天井点検口:7&#226;枠450角
⊕	【撤去】天井換気口:450角

※:RC壁撤去に関する詳細は平面詳細図参照



廊下 仕上表

床	【新設】長尺塩ビシート直貼 t2.5
巾木	【新設】ソフト巾木H100
壁	【一部新設】珪藻土ゴテ補修の上 EP
天井	【新設】化粧PB t9.5下地共 FL-2.350
柱	【一部新設】珪藻土ゴテ補修の上 EP
扉	

トイレ 仕上表

床	【新設】珪藻土補修の上ビニル床シート t2.0
巾木	【新設】西川杉羽目板張り t12の時 桧板 t150C
壁	【新設】上記以外 塩ビH100 【新設】西川杉羽目板張り t12無塗装 【新設】化粧ケイカル t6 【新設】ケイカル t6+EP-G塗装
天井	【新設】化粧PB t9.5下地共 FL-2.350 【新設】床:点検口600×600 【新設】タコタテ:甲板 【新設】洗面台:人工大理石 【新設】トリアックス化粧合板
扉	

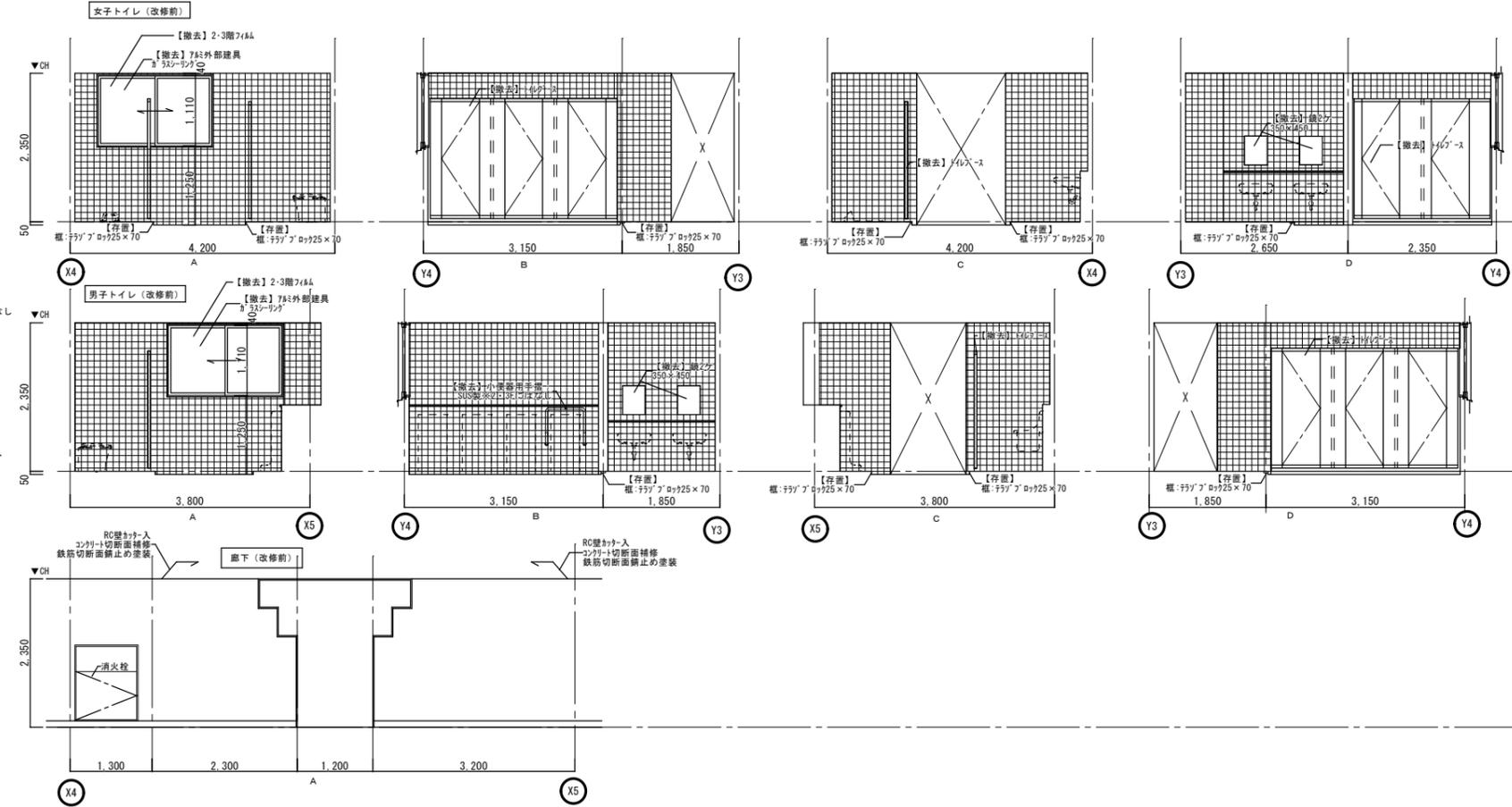
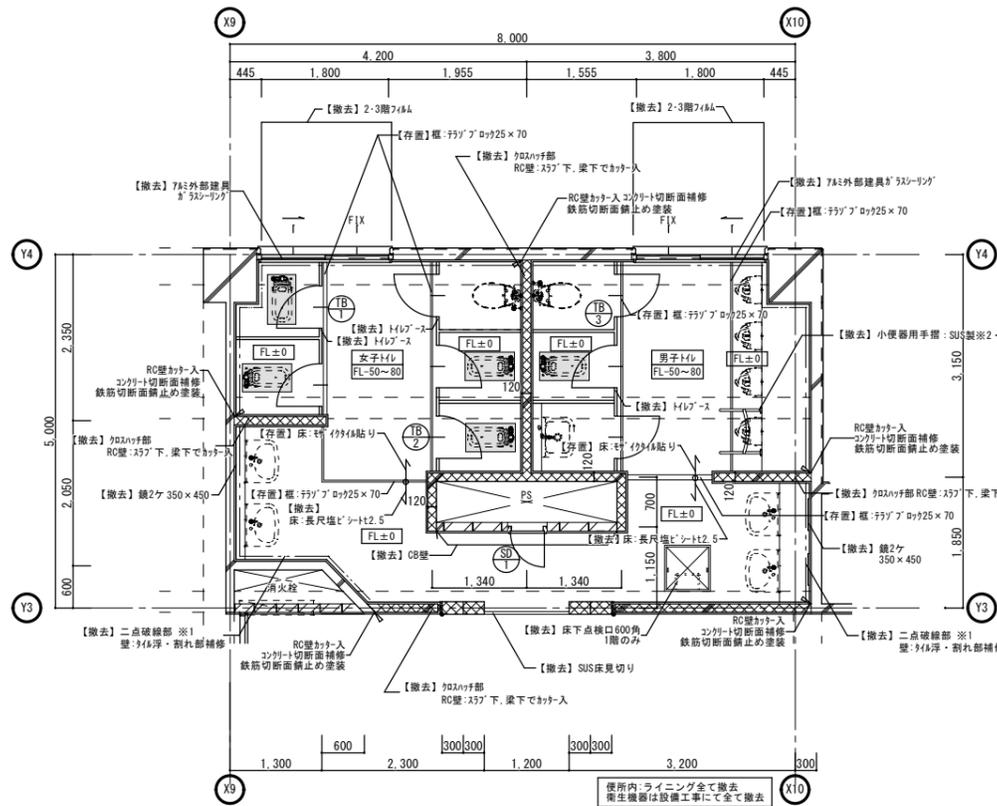
凡例

凡例記号	凡例仕様
⑦	【新設】化粧PB t9.5
⑧	【新設】化粧PB t9.5
⊗	【新設】天井点検口:7&#226;枠450角
⊕	【新設】開口:300角

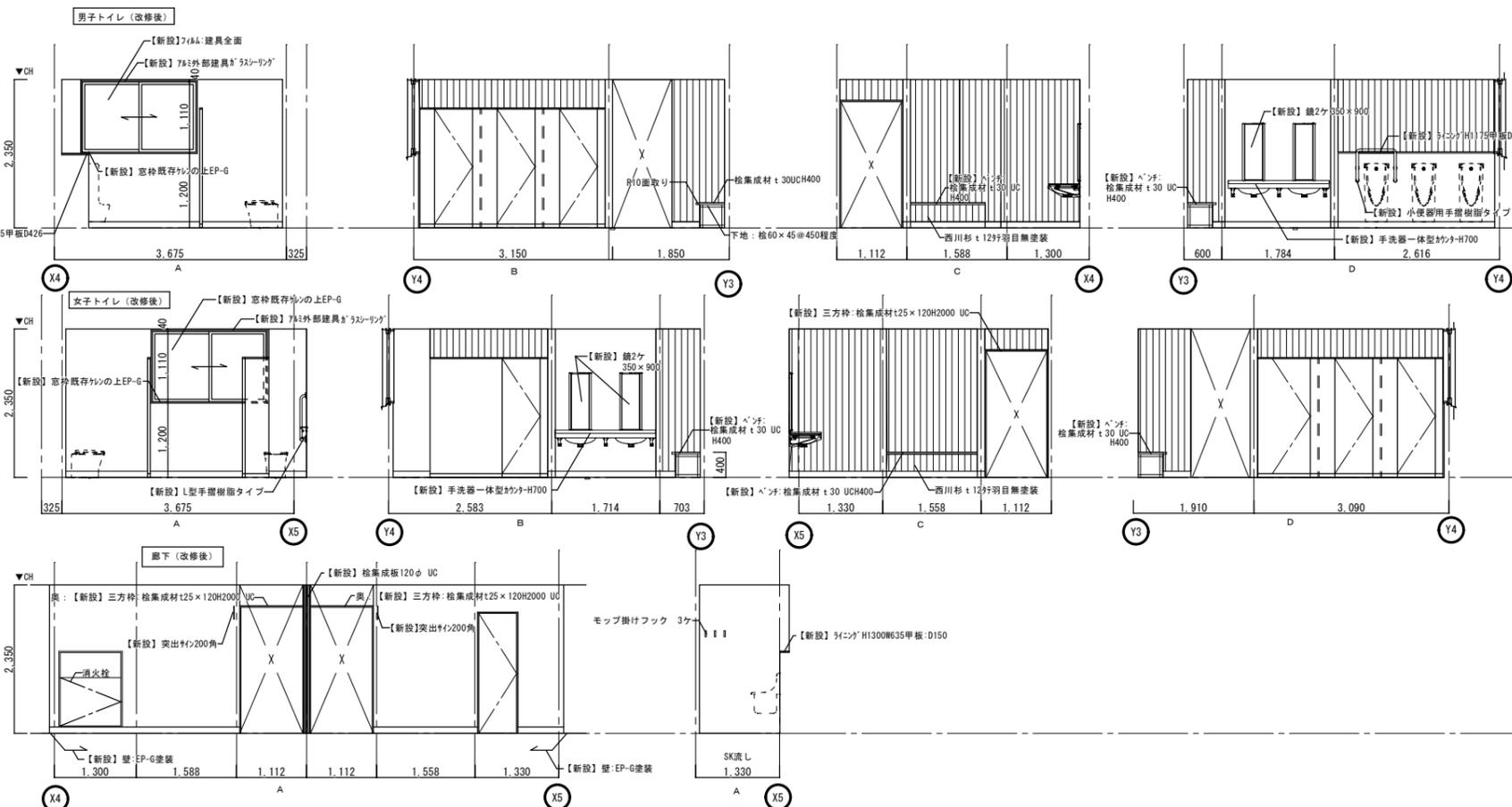
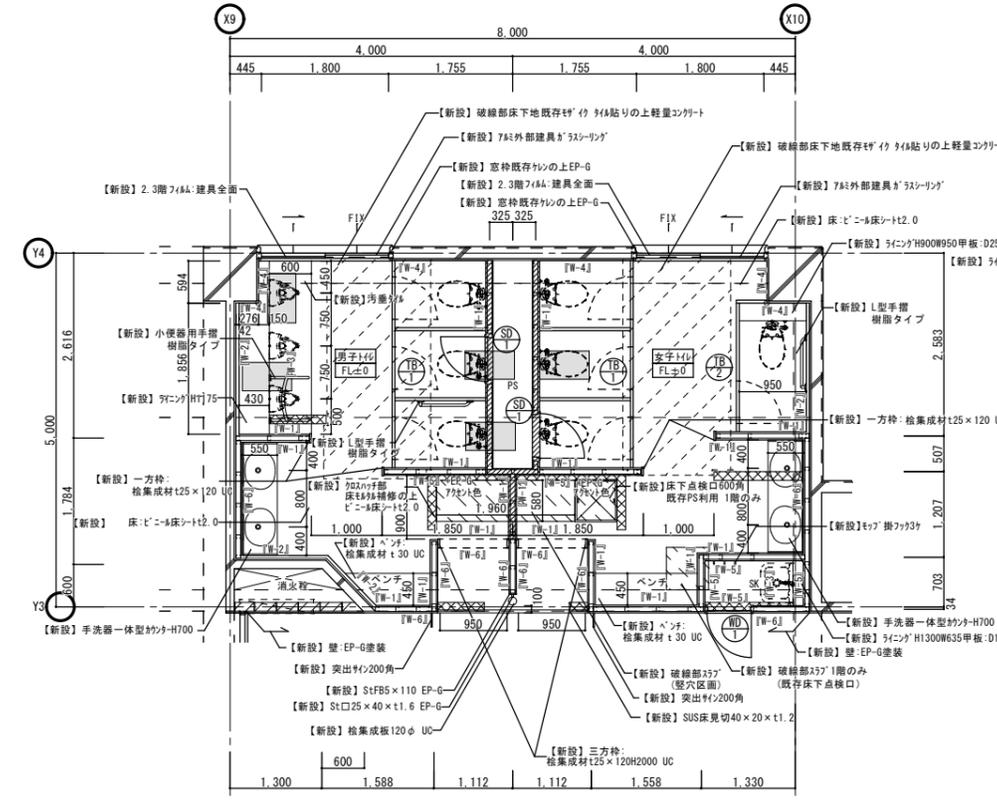
記号・数量	Ⓟ 既存建具	1F:1, 2F:1, 3F:1	Ⓟ 既存建具	1F:1, 2F:1, 3F:1	Ⓟ 既存建具	1F:1, 2F:1, 3F:1
形状						
場所	女子便所		女子便所		男子便所	
形式	トイレブース (片開きフラッシュ戸)		トイレブース (片開きフラッシュ戸)		トイレブース (片開きフラッシュ戸)	
見込	40		40		40	
材質・仕上	フラッシュパネル		フラッシュパネル		フラッシュパネル	
硝子	—		—		—	
金物	ラバトリーヒンジ・ラッチ・戸当・付属金物一式		ラバトリーヒンジ・ラッチ・戸当・付属金物一式		ラバトリーヒンジ・ラッチ・戸当・付属金物一式	
備考						
記号・数量	Ⓟ 既存建具	1F:1, 2F:1, 3F:1				
形状						
場所	洗面	片開点検口				
形式	スチールSOP					
見込						
材質・仕上						
硝子						
金物	ステンレス丁番、ケースハンドル					
備考						

記号・数量	Ⓟ 新設建具	1F:2, 2F:2, 3F:2	Ⓟ 新設建具	1F:1, 2F:1, 3F:1	Ⓟ 新設建具	1F:1, 2F:1, 3F:1
形状						
場所	女子、男子便所		女子便所		男子、女子便所-掃除具入れ	
形式	トイレブース		トイレブース		木製フラッシュ戸	
見込			40		40	
材質・仕上	メラミン樹脂化粧板(標準準色)t40(SUS巾木)		メラミン樹脂化粧板(標準準色)t40(SUS巾木)		メラミン樹脂化粧板	
硝子			—		—	
金物	取手・スライドロック錠・戸当(小物掛)・非常時解錠機構・付属金物一式		取手・スライドロック錠・戸当(小物掛)・非常時解錠機構・付属金物一式		レバーハンドル錠・ステンレス丁番、付属金持一式	
備考	指詰防止仕様		指詰防止仕様			
記号・数量	Ⓟ 新設建具	1F:2, 2F:2, 3F:2				
形状						
場所	廊下-点検口					
形式	スチール製アングル戸					
見込	86					
材質・仕上	SOP					
硝子	—					
金物	丁番・点検錠・付属金持一式					
備考						

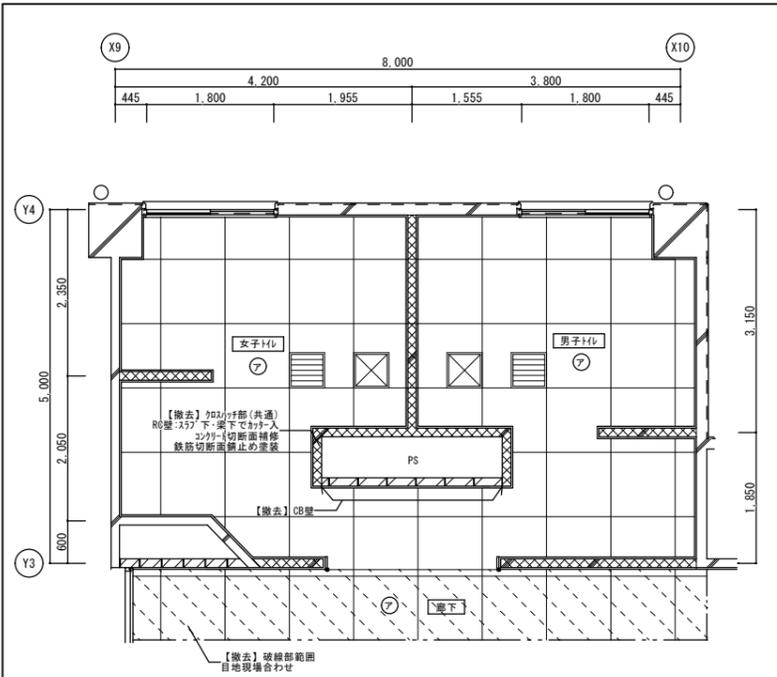
【改修前】トイレ平面詳細図・展開図



【改修後】トイレ平面詳細図・展開図



	※1: タイル補修率は10%と想定 甲板: F313K S170M120 L型手摺: L700 手洗器一体型枠: 74B-F313K S170-A474-K5C947 同等品 両サイド、枠材同材で立上りあり 別図参照	地下床凡例 W-1 LGS65+耐水PB12.5+西川杉羽目板積り t12無塗装 W-2 鋼線30×40@45+西川杉羽目板積り t12無塗装 (下地共天井まで) 既存タイル残し W-3 LGS65+構造用合板 t12+化粧イカル t6	W-4 メラミン化粧板 t3+既存タイル直貼 W-5 LGS65+耐水PB12.5+化粧イカル t6 W-6 LGS65+耐水PB12.5+ケイカル t6+EP-G塗装 W-7 LGS65+耐水PB12.5+メラミン t3	凡例 【新設】上層スラブまで耐水PB12.5仕上のLGS壁 既存便器 床復旧範囲 【新設】7&8コナ金物	地下サイン: 200角 フレーム: アルミ型材 表示基準: アルミ型材 プラライン仕上 汚濁リ体: TOTOH/ハイドロセラ・フロア (厚型) 同等品 モップ掛: 杉田エース SUS'シツク'フック JF-70M 同等品	工事名 美杉台小学校校舎南棟トイレ改修工事 (建築工事) 図面名 A棟東便所 平面詳細図・展開図 縮尺 1/50(A1) 1/100(A3)	図面番号 A-19
	図面番号 A-19						



廊下 仕上表

床	【撤去】長尺塩ビシート直貼 t2.5	アスベスト含有材料	×
巾木	【撤去】ソフト巾木H100		×
壁	【一部撤去】珪酸塩ゴテ EP		×
天井	【一部撤去】化粧PB t9.5下地共 FL-2.350		×
柱	【一部撤去】珪酸塩ゴテEP		×
換気			

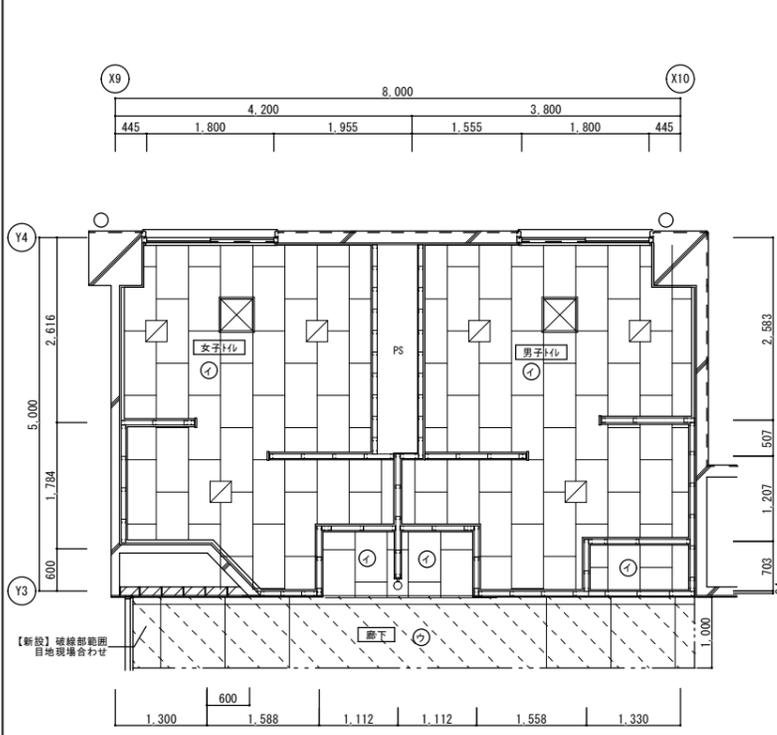
トイレ 仕上表

床	【存置】ソフト巾木 t20の上 50角タイル貼 (洗面部) 珪酸塩ゴテ下地長尺塩ビシート、巾木 ソフト巾木H100	アスベスト含有材料	×
壁	【一部撤去】100角タイル貼		×
天井	【撤去】t9石コウボード目スキャンEP下地共 FL-2.350		×
柱	【存置】100角タイル貼		×
換気	【撤去】床:点検口600×600 【撤去】ライン:珪酸塩ゴテ t25 【撤去】トイレ:珪酸塩化粧合板		

凡例

凡例記号	凡例仕様
○	【撤去】t5珪酸塩ゴテ 目すかしEP
○	【撤去】化粧PB t9.5
⊗	【撤去】天井点検口:7&#226;枠450角
⊗	【撤去】天井換気口:450角

※:R/C壁撤去に関する詳細は平面詳細図参照



廊下 仕上表

床	【新設】長尺塩ビシート直貼 t2.5
巾木	【新設】ソフト巾木H100
壁	【一部新設】珪酸塩ゴテ補修の上 EP
天井	【新設】化粧PB t9.5下地共 FL-2.350
柱	【一部新設】珪酸塩ゴテ補修の上 EP
換気	

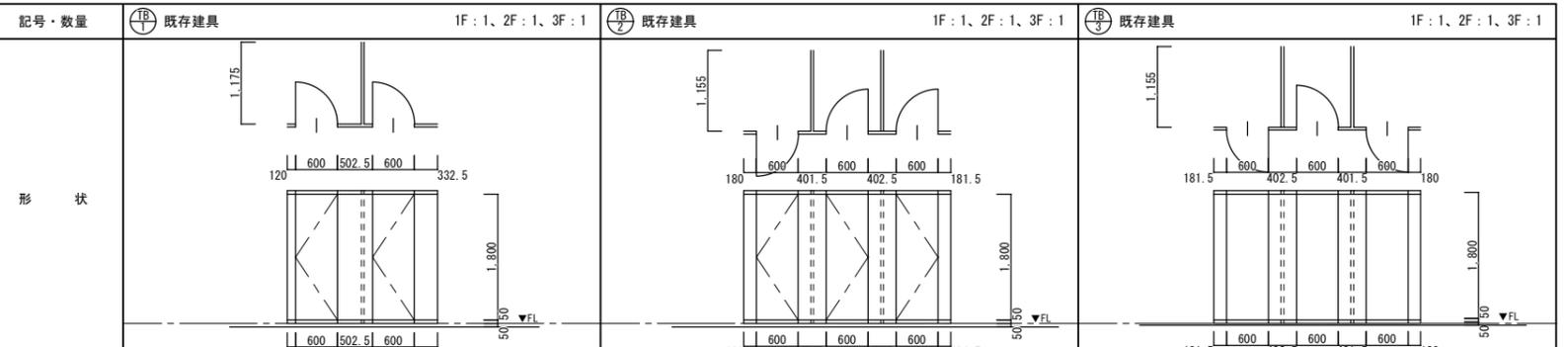
トイレ 仕上表

床	【新設】珪酸塩補修の上ビニル床シート t2.0
巾木	【新設】西川杉羽目板張り t12の時 検板 t150C 【新設】上記以外 塩ビH100
壁	【新設】西川杉羽目板張り t12無塗装 【新設】化粧ケイカル t6 【新設】ケイカル t6+EP-G塗装
天井	【新設】化粧PB t9.5下地共 FL-2.350
換気	【新設】床:点検口600×600 【新設】ライン:甲板、 【新設】洗面台:人工大理石 【新設】トイレ:珪酸塩化粧合板

凡例

凡例記号	凡例仕様
○	【新設】化粧PB t9.5
○	【新設】化粧PB t9.5
⊗	【新設】天井点検口:7&#226;枠450角
⊗	【新設】開口:300角

※天井インサート:撤去、新設



記号・数量

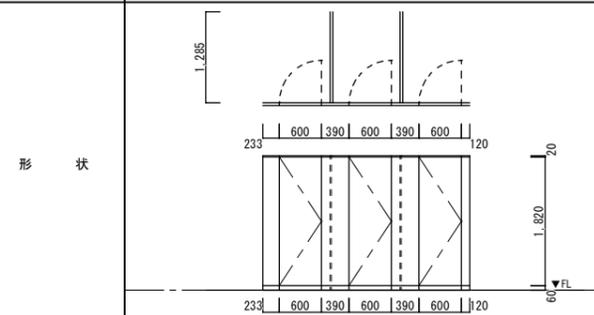
記号・数量	既存建具	1F:1, 2F:1, 3F:1
-------	------	------------------

形状

場所	女子便所
形式	トイレブース (片開きフラッシュ戸)
見込	40
材質・仕上	フラッシュパネル
硝子	—
金物	ラバトリーヒンジ・ラッチ・戸当・付属金物一式
備考	

記号・数量

記号・数量	既存建具	1F:1, 2F:1, 3F:1
-------	------	------------------



記号・数量

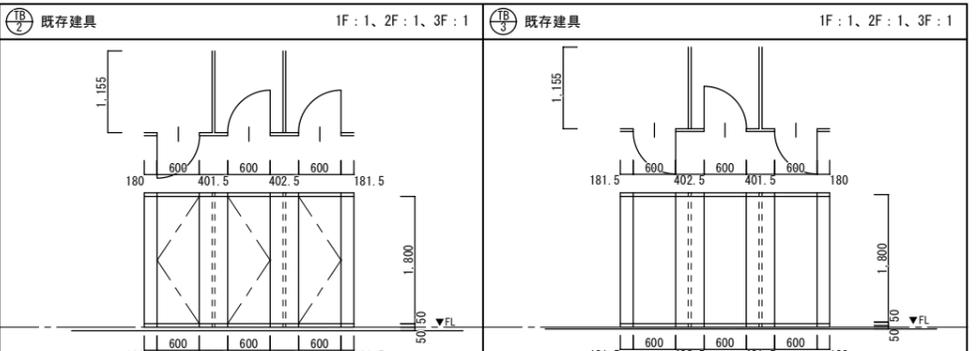
記号・数量	既存建具	1F:1, 2F:1, 3F:1
-------	------	------------------

形状

場所	洗面 片開点検口
形式	スチールSOP
見込	
材質・仕上	
硝子	
金物	ステンレス丁番、ケースハンドル
備考	

記号・数量

記号・数量	既存建具	1F:1, 2F:1, 3F:1
-------	------	------------------



記号・数量

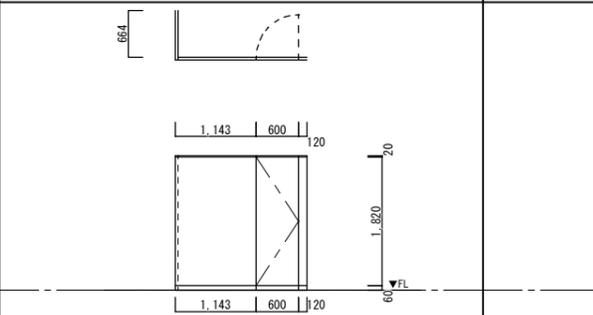
記号・数量	新設建具	1F:1, 2F:1, 3F:1
-------	------	------------------

形状

場所	女子便所
形式	トイレブース (片開きフラッシュ戸)
見込	40
材質・仕上	フラッシュパネル
硝子	—
金物	ラバトリーヒンジ・ラッチ・戸当・付属金物一式
備考	

記号・数量

記号・数量	新設建具	1F:1, 2F:1, 3F:1
-------	------	------------------



記号・数量

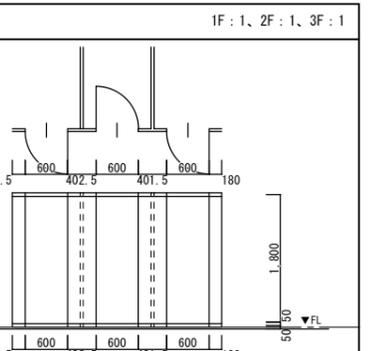
記号・数量	新設建具	1F:1, 2F:1, 3F:1
-------	------	------------------

形状

場所	廊下-点検口
形式	スチール製アングル戸
見込	86
材質・仕上	SOP
硝子	—
金物	丁番・点検錠・付属金持一式
備考	

記号・数量

記号・数量	新設建具	1F:2, 2F:2, 3F:2
-------	------	------------------



記号・数量

記号・数量	新設建具	1F:1, 2F:1, 3F:1
-------	------	------------------

形状

場所	男子、女子便所-掃除具入れ
形式	木製フラッシュ戸
見込	40
材質・仕上	メラミン樹脂化粧板
硝子	—
金物	レバーハンドル空錠・ステンレス丁番、付属金持一式
備考	

記号・数量

記号・数量	新設建具	1F:1, 2F:1, 3F:1
-------	------	------------------



